

第7次福島市総合計画策定 有識者懇談会 【第1回】

日時：令和7年1月31日 金曜日 午前9時30分～11時30分

場所：福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室

～ 目 次 ～

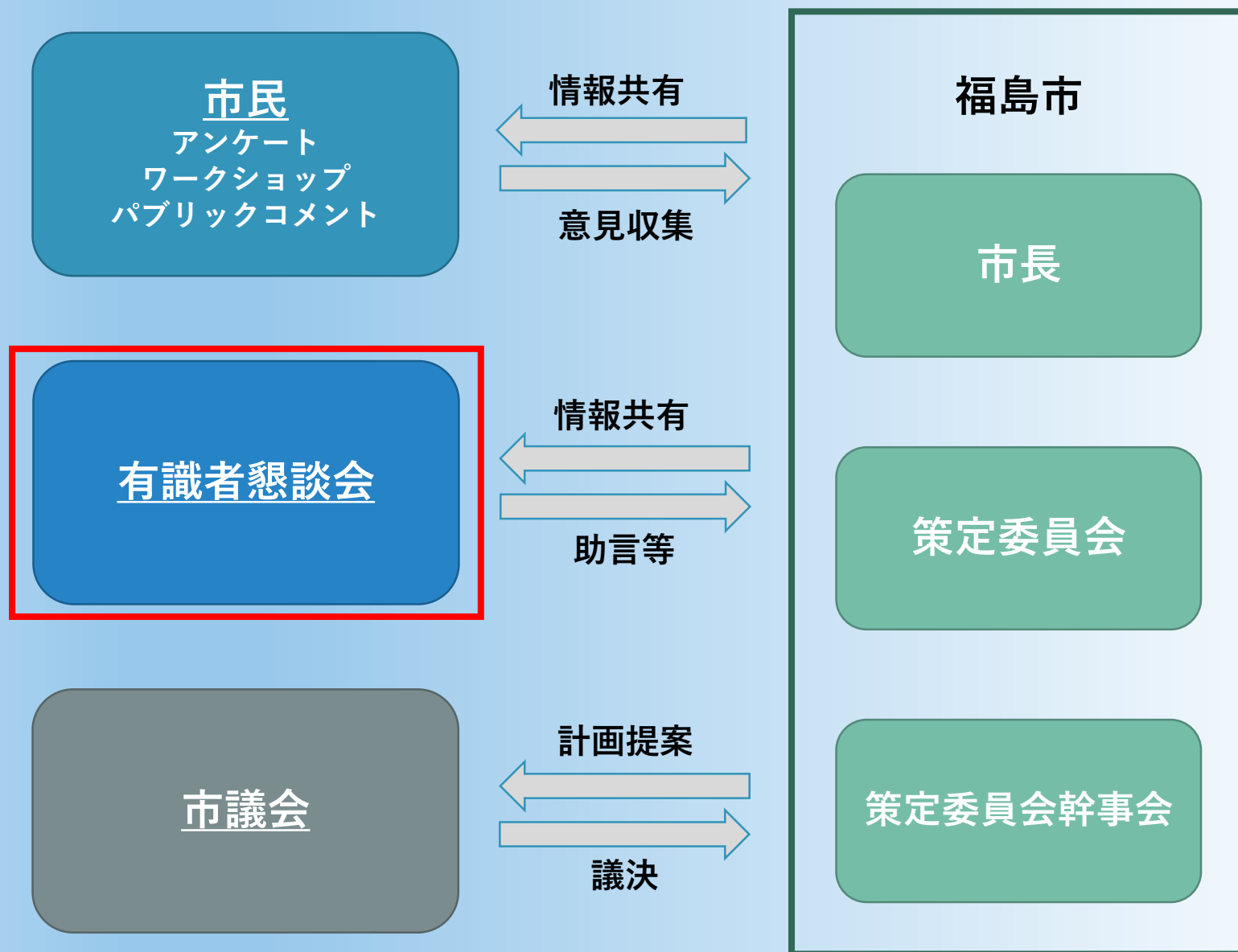
- (1) 総合計画の策定体制と有識者懇談会の役割等 3
- (2) 第6次福島市総合計画の進捗状況 9
- (3) 福島市の人口状況 4 5
- (4) 市民アンケートの結果 5 4
- (5) 事務連絡 6 2

総合計画の策定体制と 有識者懇談会の役割等

はじめに ～総合計画とは～

- 市のまちづくりに関する最も重要な計画
- 市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)を実現するため、長期的な展望のもと、まちづくりの基本的な方向性などを示すもの
- 「第7次福島市総合計画」の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間
- この計画に基づき、子育てや産業、観光、健康・福祉、環境など、さまざまな分野でまちづくりを進めていきます。

総合計画の策定体制



有識者懇談会の役割

構成

20代～70代の幅広い世代の学識経験者や有識者等
12人

役割

総合計画の策定に関して、専門的な知見を活かしつつ、
大所高所の幅広い視点で助言する。

議論のポイント

人口減少社会に対応し、持続的に発展する県都として
福島市が目指す姿とは？

市民の意見の収集手法

市民アンケート

性別・居住地区を考慮して無作為に抽出した、
15歳以上の市民3,000人にアンケートを実施
(R6年7月)

市民ワークショップ

学生など若者を中心に、様々な世代・分野から
約100名が参加し、福島市への思いを楽しく語り合う
(①R6年12月 ②R7年2月予定 ③R7年5月予定)

パブリックコメント

計画の素案に対する意見募集(来年度予定)

有識者懇談会の進め方

令和6年度

令和7年度

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

【有識者懇談会】

- 市の現状を把握する
- 課題を整理する
- まちづくりの方向性を検討する
- 計画案について議論する

【市民】ワークショップ

【市民】ワークショップ

【市民】ワークショップ

【福島市】素案作成

【市民】パブリックコメント

【福島市】原案作成

【市議会】3月議会で議決

第6次福島市総合計画の進捗状況

第6次福島市総合計画 構成

まちづくり基本ビジョン

まちづくりの基本的な考え方や施策の方向性などを示す。

実行プラン

まちづくり基本ビジョンの各施策に紐づく成果指標の進捗管理・評価検証を行う。



まちづくり
基本ビジョン
(2021～2025)



実行プラン
(2021～2025)

将来構想

概ね10年先を見据えた本市の目指すべき将来のまちの姿

基本方針

将来構想を実現するための政策の方向性として、計画期間のまちづくりを進めるにあたっての基本的な考え方

重点施策

将来構想を実現するために基本方針に沿って重点的に取り組む施策(関連する部局が連携して横断的に推進)

個別施策

将来構想を実現するために重点施策と連動して取り組む個別の施策

人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

基本理念(まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点)

1. 福島らしさを生かした 新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、
福島らしい特徴を生かす視点

2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、
SDGsの要素や考え方を考
慮する視点

3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、
様々な主体の多様性を尊重
する視点

4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都と
して県全体の発展、復興・
創生に貢献する視点

5. ポストコロナ時代を 見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据え
た新たな発想による社会づ
くりの視点

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン

実行プラン

まちづくり基本ビジョンの各施策に紐づく成果指標の進捗管理・評価検証を行う。

検証会議

外部有識者会議による評価検証を実施

令和6年度検証会議 令和6年7月26日、8月2日

管理・検証の対象

重点施策の成果指標（28指標）と個別施策の成果指標（68指標）

施策の評価区分

達成率	区分
達成率 100%	A評価
80%≦達成率<100%	B評価
60%≦達成率<80%	C評価
達成率<60%	D評価

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン

成果指標の見方

評価内容とインジケーター

《重点施策》

施策名	成果指標名	評価	達成状況			
			D	C	B	A
1 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現						
	1 「子育てしやすいまちだと思う」と答えた市民の割合	D	■			
	2 合計特殊出生率	D	■			
2 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進						
	3 「福島市の復興が進んだ」と答えた市民の割合	D	■			
	4 講座受講後の不安軽減率 ★	A	■	■	■	■
3 災害対策の強化						
	5 「危機や災害に強く安心して暮らせるまちである」と答えた市民の割合	D	■			
	6 地区防災マップ・防災計画の策定地区数 ★	A	■	■	■	■
4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進						
	7 「健康づくりや医療体制が充実したまちである」と答えた市民の割合	D	■			
	8 「高齢者や障がいのある人、子ども連れの人などが外出する際、周りの人の理解や手助けがある」と答えた市民の割合	D	■			
	9 お達者度（65歳健康寿命） ★	A	■	■	■	■

施策名

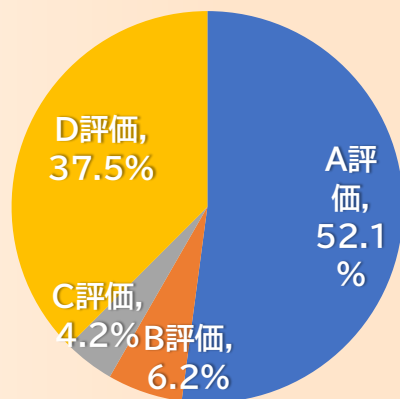
成果指標名

総合計画の進捗状況

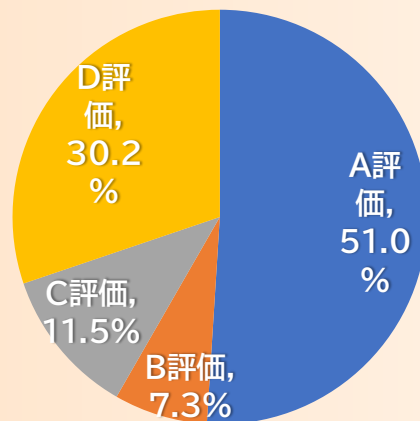
実行プランの評価と進捗状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	指標数	構成比	指標数	構成比	指標数	構成比
A評価	50	52.1%	49	51.0%	41	42.7%
B評価	6	6.2%	7	7.3%	14	14.6%
C評価	4	4.2%	11	11.5%	11	11.5%
D評価	36	37.5%	29	30.2%	30	31.3%
合計	96	100.0%	96	100.0%	96	100.0%

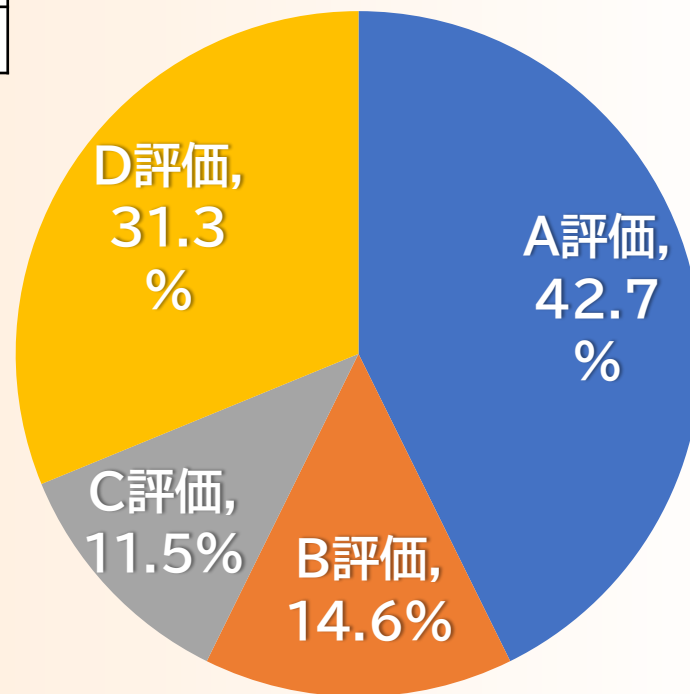
令和3年度



令和4年度



令和5年度



第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン

これまでの検証会議の意見(主なもの)

- ・市民満足度の向上を図るためには、市民の望んでいることを把握して取り組む必要がある。
- ・市の取り組みに関心が薄い市民にも届くように、積極的な情報発信を行ってほしい。
- ・人口減少の問題は、全施策に関わることで、民間等の様々な主体が連携して取り組む必要がある。

進捗状況に対する考え(実行プラン報告書より)

- ・D評価は市民アンケート指標が多くなっており、市民の満足度向上につながる取り組みを、高い発信力で周知を図り、評価を上げていく必要がある。
- ・本市のまちづくりを取り巻く環境や社会の状況の変化に対応していくため、官だけではなく民間の力の底上げを図りながら施策の達成に向けて取り組んでいく。

福島市の取り組み

令和6年度当初予算の概要

主要プロジェクト

積極果敢に政策展開と変革を図り、上昇の流れを定着・強化し、beyondコロナの新しいステージが見えるよう、以下の8つを柱として、一層の創意工夫を講じながら市政を推進します。

1

安全安心な
まちづくり

83億812万円

2

子育てと教育で
選ばれる
まちづくり

190億
1,545万円

3

高齢者や障がい者、
誰もが健康で元気に
暮らせるまちづくり

178億
6,408万円

4

将来にわたり
持続可能な
産業の振興

24億8,341万円

5

賑わいと
文化・スポーツの
振興

97億7,126万円

6

デジタル都市の
形成と地域経営
のリノベーション

20億426万円

7

ゼロカーボンの
推進

18億7,045万円

8

移住・定住の促進、
女性活躍社会の
形成

2億1,756万円

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

度重なる災害経験や他災害の**教訓を生かし**、社会インフラ整備等の**ハード事業**と創意工夫した**ソフト事業**、**多様な連携**で、定住の基盤となる災害に強い**防災都市の形成**を目指します。

①災害対策の強化

I 地震に強いまちづくり ～能登半島地震を受け対策強化

- ・**住まいの耐震化促進**（耐震診断・改修の補助。3月から前倒しで受付）
- ・ブロック塀等撤去支援
- ・水道管耐震化・更新（基幹管路耐震化100％R7末）
- ・**道路の改良、橋梁の耐震補強**（緊急対策として集中的に実施）

II 水害対策パッケージ ～減災・水防対策、土地利用対策、治水対策、流域対策

- ・災害対策オペレーションシステム運用 ～情報の一元的な収集・表示（R3）
雨量・河川水位等の自動収集、GISを利用した被害情報、避難情報の発令判断支援・一括配信、
SNS情報自動収集システム、河川水位予測システム、市独自雨量計
- ・防災情報発信の多重化（屋外スピーカー、戸別受信機、テレビDボタン）
- ・ハイブリッドな浸水対策

河川改修、河道掘削、祓川浸水対策、**農業施設防災減災対策**（水利組合等の改修を支援）、
田んぼダム設置拡大、市道アンダーパス排水設備更新、雨水貯留施設、広域的な流域治水

III 熱中症対策

- ・**ふくしま涼み処**（191カ所。5月から27カ所前倒し開放）
- ・SNS等注意喚起

IV 除雪力強化パッケージ ～「雪害」への総合的な対策強化

- ・除雪車運行管理システム
- ・除雪マニュアル策定（共創で除雪体制強化）
- ・**アダプト制度**（地域除雪5団体と協定締結）
- ・小型除雪機械購入補助
- ・市民への貸出用具の充実



河川浚渫



除雪アダプト制度

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

②防災体制の強化

- ▶**災害復旧費の事前計上**（頻発する局地的豪雨等への機動性を高める）
- ▶**防災IP無線機の導入** ▶**受援体制の強化**
- ▶**要援護者支援パッケージ**（避難行動要支援者名簿の更新、個別避難支援プラン策定、地区防災計画）
- ▶**防災訓練の実効性確保**（夜間・真冬・広域等、市民の初期対応訓練）
- ▶**防災意識・対応力向上** ～ぼうさい体験パッケージ（防災運動会等を学校、地域、企業へ展開）
- ▶**災害時連携ふくしまタスクフォース**（災害協定事業所の横断的連携）
- ▶**災害協定締結**

看護学校等のボランティア派遣（R6.3福祉避難所等の要配慮者支援）、町内会の指定避難所運営

- ▶**災害応援**（**能登地震・豪雨**:職員派遣、ふるさと納税代理受付等 **台湾地震、ベトナム水害**:募金）
- ▶**多様な避難施設、分散避難**

避難所増設（警戒レベルに応じ**44カ所**）、**避難所体育館の空調整備**
店舗等駐車場の一時避難場所（**28カ所**）

通い慣れた障がい福祉施設の避難所活用（**12法人21事業所と協定**）

妊産婦・医療的ケア児等の旅館・ホテル避難（**17カ所と協定**）

ペット同伴避難所の充実（動物愛護ボランティア創設、県獣医師会協定 **全国初**）

多様な施設の活用（福島刑務所との協定、町内会と民間事業所の協定）

- ▶**避難所運営のデジタル化**（混雑状況の配信、**マイナカード活用**の受付実証実験）

③消防力の充実強化

- ▶**消防本部・福島消防署の再整備**（市民会館用地へ移転。R10.4供用開始予定）
- ▶**消防力適正配置調査** ▶**ハイスパックドローン運用**（R5）
- ▶**消防団女性消防隊等の処遇改善**（R6.10） ▶**消防団水利デジタルマップ**（R6.2）



防災IP無線機



ペット同伴避難所



ハイスパックドローン

1 安全安心なまちづくり

(2) 生活環境の整備

市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。
仮置場の原状回復と返還を行い、健康管理・食品等の放射能測定等を実施します。

①生活環境の整備

▶あぶくまクリーンセンター再整備（設計から20年間運営のDBO方式。余熱発電。R10供用開始予定）

▶ごみ適正排出の推進

改正廃棄物処理条例施行(R7.3)…違反ごみの開封調査、改善勧告、公表
製品プラのリサイクル実証実験(R6.11)、充電式電池・乾電池の資源化回収(R7.3)

▶ごみ集積所適正管理の推進

折りたたみ式ごみネットの設置支援を追加

▶ムクドリ、カラス対策

冬場のカラス対策強化(R6.11～)、音声再生装置等での街なかフン害対策

▶合併処理浄化槽設置・転換支援（市街化区域の補助額を上乘せして整備促進）

▶第4種踏切安全対策（短期的安全対策をR6未完了）

▶通学路等の交通安全施設整備（歩道拡幅・交差点改良、道路標識・照明灯更新）

▶特殊詐欺の防止

▶犯罪被害者への支援

R6.5ハンドブック作成、R6.3犯罪被害者等支援条例の制定、R5見舞金創設

②放射線関連の対応

▶仮置場の原状回復と返還の推進（R5末37カ所返還、残4カ所の返還完了へ作業）

▶放射線からの安全安心確保

環境放射線量の測定、健康管理、給食まるごと検査、農産物・食品等放射能測定、放射線教育

▶原発処理水海洋放出による風評対策（本庁食堂で食べて応援「浜通りエールイベント」）



あぶくまクリーンセンター再整備イメージ



違反ごみ排出



折りたたみ式ごみネット

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

子育ての経済的支援を充実させ、多様な保育の提供と保育の質の向上を図り、子どもファーストで「子育てするなら福島市」の実現を目指します。

①子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまでの間、
切れ目ない経済的な支援を総合的・継続的に推進～

日本子育て大賞 **受賞R5** 東北初
共働き子育てしやすいまち
2年連続 東北**1**位

0. 結婚新生活

市独自

○ 結婚新生活応援

- ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)
・初年度15万円)

②家賃支援

- ・2年間
・最大年24万円

③住宅取得支援

- ・最大30万円

1. 妊娠～出産期

- 妊娠届時
5万円給付

市独自

- 妊婦健診15回無料

市独自

- 新生児聴覚検査無料

- 出生時
5万円給付

- 出産育児一時金
50万円給付

2. 乳幼児期

市独自

○ 福島型給食

- ・質の高い給食
・給食費の1/3を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を
国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の
無償化

3. 小学校

市独自

拡 福島型給食

- ・質の高い給食
・給食費の約4割を
支援

市独自

- 拡 放課後児童クラブの
利用料を軽減

所得制限撤廃

- ・第2子 2,000円
・第3子以降
4,000円

4. 中学校

市独自

拡 福島型給食

- ・質の高い給食
・給食費の約4割を
支援

総額

65億2,462万円

5. 高校

市独自

- 奨学資金
支給制度
・年5万円



福島型給食



市独自 国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降 均等割全額減免)

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

拡 児童手当 月額1万円～第3子3万円、高校生まで、所得制限なし(R6.10～)

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

②待機児童解消 ～官民連携の待機児童対策推進パッケージ～

I 保育の受け皿の拡大

- ・保育定員 **1,139人増** (H30.1⇒R6.4)
- ・AI活用による入所実現 (R6.4実績:**85人**)
- ・企業主導型保育施設 **6施設301人増** (H30.1⇒R6.4)
- ・幼稚園送迎ステーション (R5:2カ所に増設、利用時間拡充)
- ・私立幼稚園預かり保育支援 (R6.3利用**631人**、R6:8⇒**9施設に拡大**)
- ・保育アテンダント (入所マッチング専任相談員2名配置)
- ・私立保育所施設の改築支援 (R6:2施設10名増)

II 保育士の確保

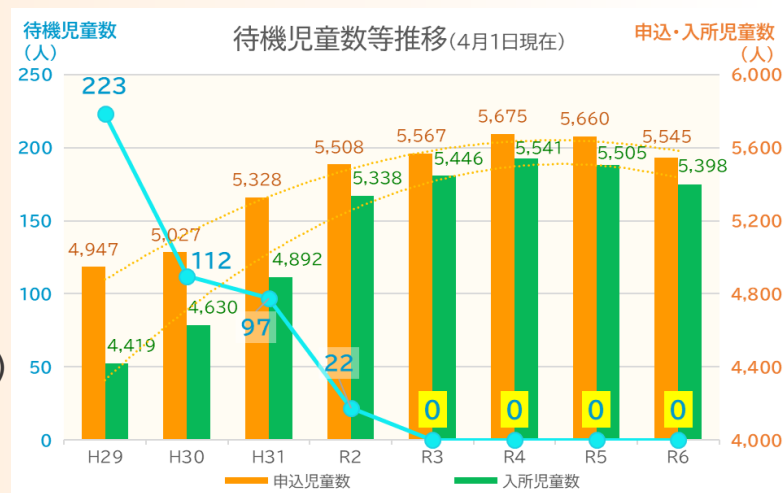
- ・保育士雇用 **534人増** (H30.4⇒R6.4) ※認可保育施設
- ・保育士等奨学資金貸付 (R5:**92人** 無利子・返還減免)
- ・保育士するなら福島市！プロモーション (保育士体験等)
- ・保育人材バンク、潜在保育士の就労支援 (R5:**就労62人**)
- ・UIターン保育士就労支援 (R5:**就労3人**)
- ・保育士宿舍借上げ支援 (R5:**19施設**)
- ・保育士等の処遇改善

III 保育の質の確保

- ・保育の質ガイドラインを踏まえた研修会
- ・保育支援員雇用支援 (R6:**44施設**)
- ・ICTを活用した保育業務支援システムの運用

待機児童 **4年連続 0!!**

対H29 **△223人**



保育士プロモーション動画

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

③保育の質の向上

▶特色ある幼児教育・保育の推進

豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を応援。18施設

▶市立幼児教育・保育施設の再編（24→12園。市内4区分し拠点整備。老朽施設の統廃合と民間移行等）

▶(仮称)もりあい認定こども園整備（地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点。R8開園予定）

④多様な保育の提供

▶**こども誰でも通園モデル**（未就園児の定期的な預かり。市独自含め3施設）

▶休日保育（私立1施設、R6は公立1施設追加）

▶**病児・病後児対応型保育**（新規2施設。病児・緊急時の子ども預かり）

⑤子育て環境の整備

▶こどものえがお条例（地域全体で子の育ちを応援）

▶**放課後児童クラブの運営拡大**

H29:69クラブ⇒R6:**96**クラブ、待機児童…H30.5ピーク時:89人⇒R6.5:**3**人、R6運営補助拡充

▶**おむつのサブスク**（R6.12～市立施設。保護者・保育士の負担軽減）

▶子育て支援アプリの機能拡充（R6.5**検診予約・妊娠届出のオンライン化**）**県内初**

▶こども家庭センターの前倒し設置（子ども、妊産婦、子育て世帯の総合相談窓口）

▶**子ども医療確保**

小児科6カ所の新設支援(R5.12～)、オンライン診療、適正受診の啓発、

夜間休日急病センターに**休日小児科開設**(R6.7)

▶子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 ▶子ども食堂運営支援

▶遊び場づくりと情報提供（ふくしま圏域公式LINE「あそびばみつけ」開設）

▶新婚・子育て世帯向け住宅の提供（ふくしま☆スタイル住宅、まちなか公営住宅等）

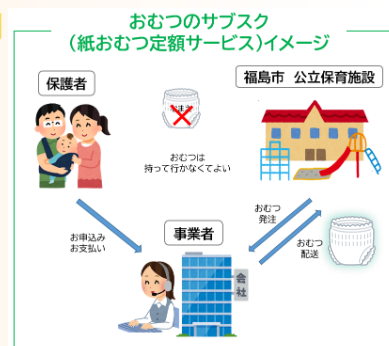


【えがお条例基本理念】

- ①1人の人間として尊重
- ②自己肯定感が育まれる
- ③社会生活能力の習得
- ④個性や可能性を伸ばす
- ⑤地域社会の連携協力



特色ある
幼児教育・保育



2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

ICTを活用した学びの充実、読解力の向上と図書の充実、学校施設の改修加速、不登校児童生徒の支援など、子どもたちの健やかな成長と質の高い学びを支えます。

① 学校教育の質の向上

▶ **福島型オンライン授業** ～生徒・指導員1人1台端末の日常的な活用

全市一斉オンライン授業、ふくしまっ子未来トーク、デジタル教科書、市電子図書館活用、学校図書館ICT化

▶ **個性をのばす教育**（著名人・企業と連携したスポーツ・文化芸術の教育。部活動の地域移行と連動）

▶ **部活動指導体制整備**（指導員配置拡充、中学校部活動の段階的地域移行）

▶ **中学生ドリームアップ**（職場体験、キャリア教育） ▶ **中高生海外チャレンジ応援**

▶ **読解力向上推進、学力向上サポート**（学習支援員配置）

▶ **教職員の働き方改革推進**

▶ **ぶか☆サポ**（R6.7 市職員の部活動指導員への任用）

▶ **スクール・サポート企業登録**（R7.4 マッチングで学びを支援）



個性をのばす教育



公立夜間中学
「天神スクール」

② 学びの環境の充実

▶ **義務教育学校の開設**（R7.4松川地区）**本市初** ▶ **公立夜間中学「天神スクール」開校**（R6.4）**県内初**

▶ **中央地区の小学校再編**（先導的な教育モデルや不登校支援の充実も検討）

▶ **学校施設リフレッシュ加速、バリアフリー化**

外壁落下防止の緊急修繕、外壁・屋上の改修・長寿命化、トイレバリアフリー化、二小にエレベーター設置

▶ **学校施設の包括管理**（R8導入予定）

▶ **いじめ・不登校対応推進**（R5条例改正）

不登校児童生徒への**オンライン教材提供**、支援教員を市独自8校配置、他校生徒受入5校 **県内初**

▶ **スクールロイヤー配置**（R6.10）

▶ **新学校給食センター整備**（R6.11着工。設計から15年間運営のBTO方式。R8供用開始予定）

3 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

(1) 健都ふくしまの創造、地域医療の充実

市民総ぐるみの健康づくりを推進するとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援します。救急医療、医師確保対策など、医大や市医師会・医療機関と連携し、**地域医療体制の充実**を図ります。

① 健都ふくしまの創造 ～個人、地域、職場の健康づくり

- ▶ 福島らしい健康づくり（健脚文化、ヘルスリテラシー向上、適しお等）
- ▶ 特定健康診査、がん検診の推進



② 高齢者の元気増進

- ▶ 高齢者の足の確保支援

新シルバーパスポート制度（R7.4開始。タクシー併用可能）、小さな交通の拡大（R6.11 **大波地区**）

- ▶ 介護人材確保パッケージ（**元気高齢者の介護職参入支援**、資格取得支援、研修会拡充、介護職PR動画）
- ▶ **定期予防接種費用の助成** ～自己負担を3割に軽減（新型コロナ、インフルエンザ、肺炎球菌）
- ▶ シルバー人材センター活動支援 ▶ シニア向けeスポーツ交流会



③ 地域医療の充実

I 救急医療体制の充実

- ・休日夜間輪番制救急医療の体制確保（土曜日午前の輪番体制）
- ・**デジタルを活用した救急医療の強化**

12誘導心電図伝送装置、映像伝送システムLIVE119、**マイナカード活用の救急搬送実証事業**（R6.9）

- ・医大と連携した救急医療の基盤強化



マイナ保険証活用実証実験

II 地域医療体制の充実

- ・**子ども医療確保対策**

小児科6カ所の新設支援、休日の小児科開設・オンライン診療、適正受診の啓発

- ・**高齢者施設の休日・夜間オンライン診療**（R6.4～7試行）
- ・夜間休日急病センターの運営
- ・休日在宅当番医制運営
- ・医師確保、臨床研修支援等



高齢者オンライン診療

3 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

(2) 共生社会の推進

ハード・ソフト・心のバリアフリーを推進し、外国人や動物にもやさしいまちづくりに取り組み、五輪レガシーとして、子ども、高齢者、障がい者など誰もが安心して暮らせる**共生社会の実現**を目指します。

①バリアフリーの推進 ～バリアフリーマスタープラン策定(R3.6) 県内初

バリアフリー推進パッケージ

- ・ヘルプマーク普及推進
- ・南福島駅エレベーター・スロープ設置
- ・ボッチャ普及推進
- ・歩道点字ブロック設置
- ・心のバリアフリー推進強化
- ・バリアフリー推進パートナーミーティング
- ・サインガイドライン策定



JR南福島駅バリアフリー化

②障がい児・者福祉の推進

- ▶**ワンストップの相談支援センター**（全ての障がい種別に対応可能、6カ所に拡充）
- ▶障がい者雇用促進企業認証事業（H29:5社⇒**R6:19社**）、**ゴールド認証**（**R6:6社**）
- ▶**いきいき！ふくしEXPO**（福祉施設製品をふくしま圏域内企業とマッチング）

③パートナーシップ制度導入

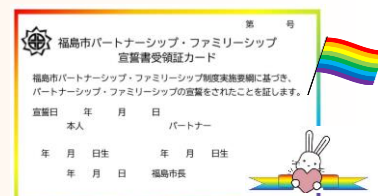
同性パートナー、事実婚、希望する親と子までを対象（**R6.7導入**）

④多文化共生の推進 ～外国人との共生で地域活力・労働力へ

- ▶多文化共生センター「**Yuiverse**（ユイバース）」運営（気軽に立寄る交流拠点）
- ▶**企業向け外国人材活用相談窓口** ▶**結・ゆい・フェスタ**
- ▶日本語サポート（教員免許を持つ日本語指導コーディネーターを学校配置）
- ▶台湾地震の支援募金 ▶ベトナムとの交流事業（東京五輪ホストタウン）

⑤動物との共生

- ▶動物愛護推進（不妊支援、しつけ方教室、譲渡時マイクロチップ装着等）
- ▶ペット同伴避難所の体制整備（R4獣医師会との連携協定締結）



パートナーシップ・ファミリーシップ制度



多文化共生センター
Yuiverse

4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(1) 農林業の振興

農林業振興基金を活用して施策を大幅拡充し、次世代を見据えた持続可能な農業を促進します。
果実プロモーションの展開等により、販売拡大とブランド力向上を図ります。

① 農業の振興 ～太陽光発電事業寄付金による基金を活用

次世代型農業の推進

- ・気候変動適応型農業支援（渇水・高温対策の自動灌水装置等）
- ・スマート農業実装支援（作業効率化・生産性向上のスマート農機具・システム導入）
- ・脱炭素設備導入支援（農家事業用の太陽光発電システム導入助成）
- ・脱炭素・循環型農業支援（先導的な循環型モデル事業、園芸施設エネルギー転換、剪定枝の利活用）
- ・カジュワークプラス（R6.6業種拡大） ・収入保険加入の促進（R7まで特別対策）

▶提案型の地域課題解決事業（農業団体12件の取組を支援）

▶新規就農支援パッケージ ▶樹園地の継承

▶人・農地プラン策定

▶鳥獣被害対策、ツキノワグマ被害特別対策

▶福島地方卸売市場の再整備推進

② 販売拡大・ブランド力向上

▶「ゆうやけベリー」ブランド確立

▶F-BOX活用（詰め合わせ商品ブランド化）

▶果実等プロモーション

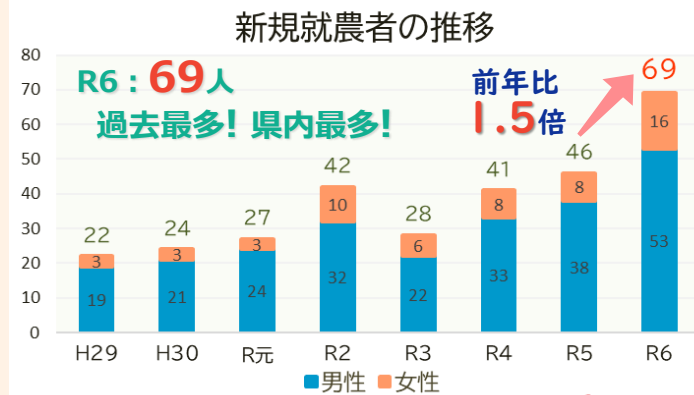
重点消費地や交流都市へのトップセールス、ピーチ&アップルホリデー

▶軽トラ市の開催（駅前・Web軽トラ市）

▶食品加工の産業化、新商品・新品種の開発促進



カジュワークプラス



4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(2) 商工業の振興

地元企業のチャレンジや事業承継を支援し、企業誘致や新規創業の促進を強化して魅力ある**企業・産業の集積**を高め、新たな取組が生み出される**創造的な経済体質**への転換を図ります。

① 地場企業の振興

- ▶ **新製品・新技術開発支援**（開発期間を複数年に拡大）
- ▶ **ものづくり企業応援**（市内企業開発製品の認知度向上や販路拡大を応援）
- ▶ **凍み豆腐事業継承推進**（温暖化適応の製法を福大と共同研究）
- ▶ **企業向け外国人材活用相談窓口** ▶ **次世代後継者育成「夢創塾」**（R5参加業種拡大）
- ▶ **圏域9ビジネスマッチング** ▶ **中小企業ゼロカーボン資金融資**



クリエイティブ
ビジネスサロン

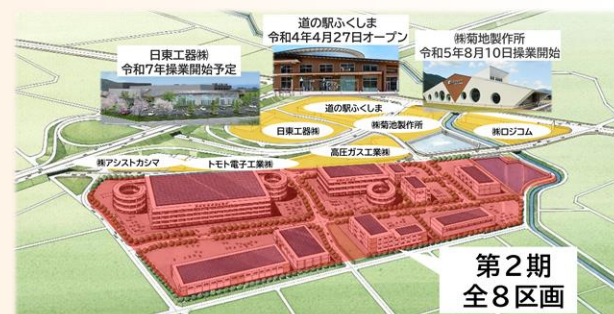
② 新規創業支援

- ▶ **街なか創業ゾーンの形成**（都市型産業の集積）
- ▶ **クリエイティブビジネスサロン運営** ～新たな働き方の促進
- ▶ **起業女子応援パッケージ** ▶ **創業応援利子補給パッケージ**
- ▶ **若者創業支援トップセールス**（学生の創業促進）
- ▶ **大学や誘致企業と連携した研究開発、新産業の創業支援**

③ 企業誘致の促進

- ▶ **第2期おおぞうインター工業団地の分譲開始**（R7.1予約販売）
- ▶ **企業誘致支援の拡充と追加投資の促進**（R6.3条例改正）
- ▶ **新産業団地の調査開始**
- ▶ **「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援**（本社・支社機能の誘致推進、ゆとり満喫エールパスポート）
- ▶ **企業誘致トップセールス** ▶ **誘致企業と地場企業の交流促進**

企業誘致
H30～R5 19社



第2期
全8区画
おおぞうインター工業団地

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(1) 街なかの活性化

駅東口再開発事業を支援し、連携して**交流・集客拠点施設**を整備するほか、耐震性の弱い**公共施設の再編整備**を進めます。**店舗・人の集積**を促し、多様な仕掛けで**賑わい創出**や交流人口の増加を図ります。

① 中心市街地のまちづくり

～風格ある県都を目指すまちづくり～

▶ 東口再開発事業 ～交流・集客拠点施設整備

相次ぐ資材高騰、市況の悪化で事業計画を見直し。R11開業を目指す

▶▶ 見直し方針 コンセプト

～ 賑わい・文化・つながりを生み出す「FUKUSHIMA EGG」

▶ 駅東西一体のまちづくり

駅周辺のまちづくり検討会で議論、西口商業施設跡地の活用方針等
駅構内コンコース東西通行の社会実験(R6.11)

▶ まちなかの都市力強化 ⇒ 商業等立地に波及

「人が住む・働き学ぶ・集まる・流れる」の4要素を一体的に取り組み、都市力を強化

② 公共施設の再編整備

市民センター整備 ～多用途活動拠点となる『複合市民施設』(R7.3グランドオープン)

・**市民交流機能** ・**議会・庁舎機能**(一部市民開放) ・**防災機能**

中央学習センター、市民会館等を統合・複合化

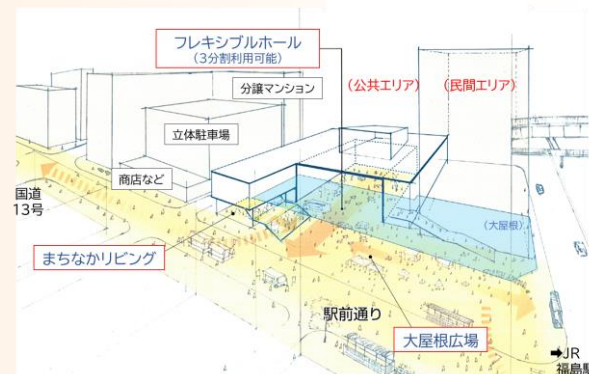
駐車場適正利用の有料化、各学習センター申込方法の改善

▶ **清水支所の建替** (R6.2開所 本市初の**ニアリーZEB**に対応)

▶ 未利用公有財産の利活用

提案型民間活力導入制度を創設、旧大久保小学校の利活用を実施(R5)

▶ **三河台学習センターリニューアル、飯野学習センター移転・支所複合化** (R5)



施設全体と駅前通りの鳥瞰イメージ

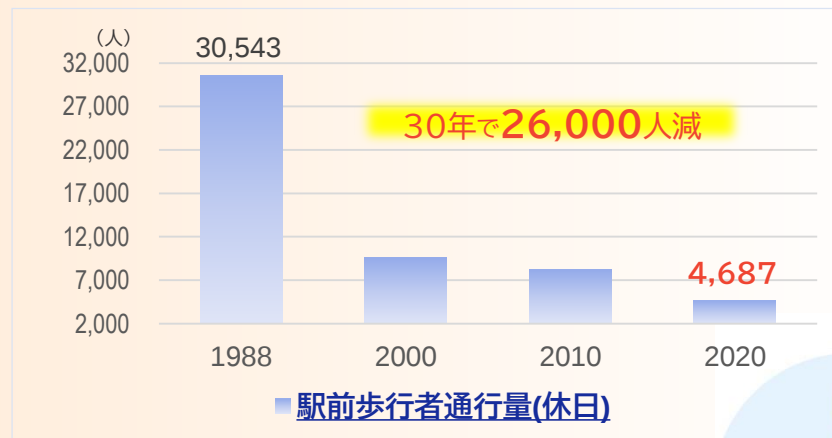
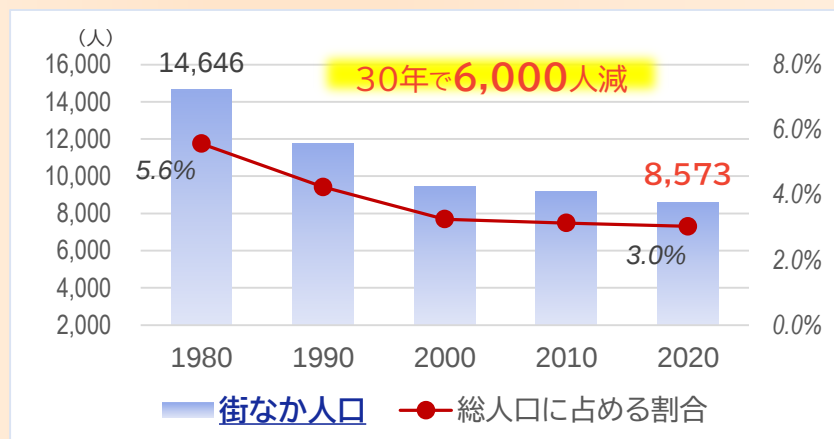


市民センターイメージ

中心市街地の人口・事業所の推移

【街なか衰退の構造的要因】

- ▶ **集客力ある施設の減** ⇒ 週末イベントでカバー(地元との連携に課題)
- ▶ **居住人口の減** ⇒ 食品や日用品などの需要に影響
- ▶ **事業所数・従業者数の減** ⇒ ランチ、終業後のショッピング、ナイトライフなどの需要に影響
- ▶ **消費者行動の変容(車を店先などに停めて買い物や飲食をするなど目的のみ)** ⇒ お店や商品などとの偶然の出会いが減



『コンパクト+ネットワーク』のまちづくり

既存の人口・都市機能・基盤集積を生かした効率的な都市経営を進めるため、従来の拡大・拡散型の都市づくりを転換し、生活環境を重視した持続可能な集約型の市街地誘導・形成と中心部や地域生活拠点などが連携するコンパクト+ネットワークのまちづくりを目指す。

また、市街地内の生活環境の向上や各地域の市民生活を支える地域生活拠点の強化を図るとともに、周辺部における農業生産環境の整備、豊かな自然の保全、既存集落の維持・活性化を図り、市街地と周辺の自然・田園が調和した都市づくりを目指す。

【福島市都市マスタープラン(平成29年3月)】

中心拠点＝広域的な拠点

市全体又は広域的に活用される高次都市機能を総合的に集積

行政、経済(業務、商業、コンベンション)、医療・福祉、大学・高校、文化、情報発信、まちなか居住等

コンパクト+ネットワークのイメージ

都市計画区域

市街化区域

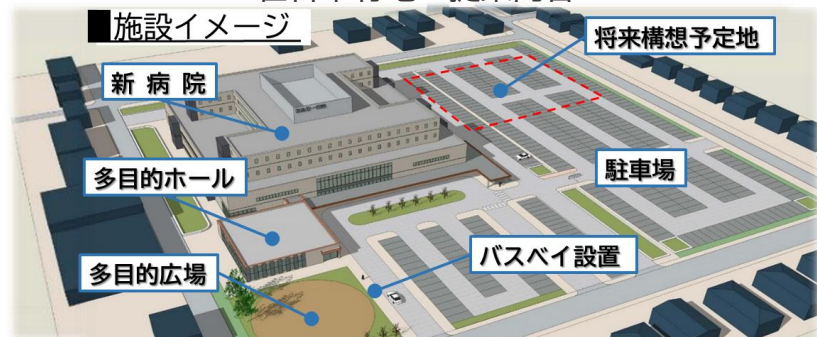
※国土交通省資料を加工

地域拠点

地域の特性に応じ、地域の市民生活を支える拠点、観光や工業、農業等の特定分野の拠点を形成

南矢野目地区(商業系拠点)、飯坂地区(観光、生活拠点)、大笹生地区(工業、交流・スポーツ拠点)、笹谷地区(居住系拠点) 等

< 笹谷市有地の提案内容 >



敷地面積 : 約26,000㎡

主要な用途 : 病院、多目的ホール、多目的広場

※福島第一病院の移転新築。病床数150-196床。

(社会医療法人福島厚生会資料より)

< 南矢野目市有地の提案内容 >



敷地面積 : 約28,500㎡

主要な用途 : 市場、書籍・カフェ、イベント広場、子ども図書館など

※車で10分の商圈(5km)を想定

(イオンタウン(株)資料より)

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(1) 街なかの活性化

③街なかの賑わい創出

街なか出店の促進

- ・新規出店の内外装工事等補助（対象エリア拡大、大きい規模の出店を誘導）
- ・街なか出店家賃補助（アパレル産業等の支援を手厚く）
- ・街なか店舗等整備支援（都市機能集積施設の整備支援）
- ・不動産投資研究会

人が集まる仕掛け

- ・拠点施設の整備

まちなか広場、街なか交流館、西口エールビジョン、駅前地下歩道階段アートデザイン、ストリートピアノ、再開発エリア「駅前にぎわい広場」、駅前通りの市道認定

- ・街なか居住促進（新婚・子育て世帯向け市営住宅、R6.4入居要件緩和）
- ・ほこみち社会実験（R6.10日常的な憩いの道路空間）
- ・バンケット機能提供（R6.10テルサ活用）

イベント等による賑わい創出

- ・商店街等活性化イベント支援

春季・複数日開催を手厚くし、年間を通じて切れ目のない賑わいづくり

- ・まちなかこどもの日（5/5開催。街なか全体で子どもたちをおもてなし）
- ・学生等のまちづくり活動支援
- ・街なか賑わい創出プロジェクト（情報サイトでイベントの共有と連携）

回遊を促す仕掛け

- ・赤・青メロディバス
- ・ももりんシェアサイクル
- ・パークアンドライド

街なか出店 R2以降 **139件**

※R6.11月末現在



街なか新規出店



ふくしま☆スタイル市営住宅整備



まちなかこどもの日



青メロディーバス

街なかの新しい動き

①クリエイティブビジネスサロン



②駅東西通行社会実験



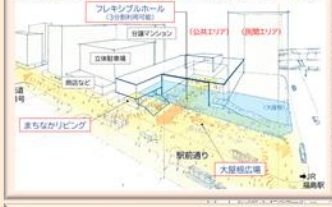
③駅前地下歩道ストリートピアノ階段アート、新・街なか交流館



④歩行者天国定期化(軽トラ市)



⑤駅東口再開発事業(イメージ)



⑥医大保健科学部開設、大原綜合病院・赤十字病院移転



⑦新まちなか広場



⑧ほこみち社会実験



⑨県庁通りアーケード改修



⑩パセオ通りバリアフリー化、カリヨン時計



5 賑わいと文化・スポーツの振興

(2) 観光対策の強化

道の駅ふくしまの運営や、花観光・ロケツーリズムなどの**テーマ観光**を推進し、市民が楽しみ、市外から人を呼び込み、観光消費により**経済効果を高める**観光を目指します。

①福島らしい観光

テーマ観光の推進

I 花観光

- ・ふくしま花回廊（通年の花観光）
- ・**信夫山公園開園150周年事業**（冠事業、散策環境整備。レガシー活用へ）

II あづま山麓エリア観光

- ・吾妻五葉松ツーリズム（首都圏PR、トレイルツアー）
- ・**蔵元ツーリズム**（市内5蔵元が集まる「**ふく酒街道**」周遊）
- ・土木遺産群インフラツーリズム
- ・四季の里整備（**駐車場拡張**、将来構想策定）
- ・ふくしまスカイパーク活用促進（R6.11**室屋氏会社と「空」をテーマの協定締結**）

III フルーツツーリズム ～ピーチホリデイ、アップルホリデイを展開

IV ロケツーリズム

- ・**ロケ誘致と観光への活用**（ロケ実績 R元:1件⇒**R5:33件**）
- ▶「ふくしまステイ。」観光プロモーション
- ▶**ふくしま花火大会、わらじまつり**

有料観覧席を増設しテーブル席を新設、観光客消費の経済効果

- ▶東北絆まつり（R6.6仙台開催、R7大阪万博出演） ▶**プレDC**（R7.4～6）
- ▶大ゴッホ展（R8.2。環境整備、観光文化活用、レガシー形成）
- ▶インバウンド誘客（海外観光プロモーション、プロモーション動画活用）

R5観光客入込数**828万人**
過去最高!!



信夫山公園150周年



蔵元ツーリズム



「空」をテーマの協定締結



わらじまつり

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(2) 観光対策の強化



②道の駅ふくしま

「実・湧・満・彩 福島市」の地域振興拠点 ～集客交流、情報発信、産業振興

- ▶**多彩な魅力**：ピアノイメージ外観、県産材活用、眺望、くだものなど地元農産物・フードメニュー・日本酒等
- ▶**多彩な機能**：屋内こども遊び場、ドッグラン、電動付きレンタサイクル、重点道の駅、広域防災拠点、東北道利用者も「寄り道」可能(R6.3)など

道の駅ふくしま



来場者
450万人
突破!

③温泉地活性化 ～ふくしま三名湯ブランディング～

「飯坂温泉」

レトロな街並み
熱さ番付

国有形文化財…

旧採進堂酒店(R1)、十綱橋(R2)、
旧堀切家住宅(R2) 斎正機氏絵画展示

新規出店の内外装工事費等補助



「土湯温泉」

こけし エビ養殖
熱利用発電

都市再生整備…

公衆浴場「中之湯」(H30)
観光交流センター「湯愛舞台」(R1)
まちおこしセンター「湯楽座」(R1)



「高湯温泉」

乳白色の硫黄泉
源泉かけ流し宣言

じゃらん

人気温泉地ランキング 第1位
2024版 満足度総合部門
満足度94.4%



▶公衆浴場・飯坂町財産区の持続可能な経営改革 (R7.2条例施行)

- ・施設更新やバリアフリー化等の必要な投資
- ・入浴料や温泉使用料の見直し
- ・柔軟な企画券発行や営業時間設定

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(3) 古関裕而のまちづくり、歴史・文化と調和したまちづくり

連続テレビ小説「エール」や野球殿堂入りの**レガシー**を活用し、**古関裕而のまちづくり**を推進します。
本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、**福島らしい文化**の振興を図ります。

①古関裕而のまちづくり ～朝ドラ「エール」のレガシー活用

- ▶**第2回古関裕而作曲コンクール** (R6.6本選)
- ▶チェンバー・オーケストラの活動支援
- ▶野球殿堂入りレガシー



作曲コンクール



全早慶野球戦(R5.11)、古関裕而杯中学生女子軟式野球大会(R6.4)

- ▶**まちなか音楽祭2024** ～街中に音楽があふれる
- ▶古関裕而記念音楽祭
- ▶古関裕而メロディ体感の仕掛け



中学生女子
軟式野球大会



赤・青**メロディーバス**、メロディーボックス、デザインマンホール、パセオ通りカリヨン時計塔など

- ▶エールレガシー事業 (ロケ地に加え、自然・温泉・フルーツ等の魅力を継続発信)

②歴史・文化と調和したまちづくり

I 福島らしい文化の振興

- ・文化振興条例の制定 (R5) ・文化振興計画の策定 (R6)
- ・文化施設の保存活用 (旧広瀬座再整備R7完成予定、写真美術館や民家園の活用)
- ・斎正機氏の絵画展示 (寄贈10点を常設展示。旧堀切邸やクリエイティブビジネスサロンなど4施設)
- ・アートストリートふくしま



まちなか音楽祭

II 縄文文化の保存と活用

- ・西久保遺跡の保存活用 ～古代東北史の貴重な史料
「鎮兵」木簡 **全国初出土** レプリカ展示、水場遺構移築復元の検討・調整
- ・じょーもぴあ宮畑の活用推進 ・和台遺跡整備 ・しゃがむ土偶ドキドキ事業

しゃがむ
土偶



旧広瀬座

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(4) スポーツのまちづくり、シティセールス

東京2020大会開催のレガシーを活用した事業を展開し、スポーツのまちづくりを推進します。
本市のまちづくりを効果的に発信し、ファン拡大と関係人口の増加を目指します。

① スポーツのまちづくり ～五輪レガシー

▶ ふくしまシティハーフマラソン2024

オール福島のおもてなし、4,300人超が街なかを疾走

▶ スポーツコミッション ～大会・合宿の誘致と支援

荒汐部屋・東洋大水泳部・デフ日本代表の合宿など

▶ パラスポーツの振興

パリパラリンピック ボッチャ銅メダル遠藤裕美選手へスポーツ賞授与

▶ スポーツ施設の改修

▶ スポーツ人口拡大とプロスポーツ支援

② シティセールスの推進 ～ファン拡大と関係人口増加

▶ ふるさと納税

まちづくり賛同型の展開、活用事例の発信、独自色の強い返礼品など

▶ ふくしまMICEパッケージ

大規模会議誘致と開催支援、特色ある施設・土産品

▶ 納豆のまち福島ブランド化

毎月10日は納豆の日

▶ 首都圏の関係人口創出

「福島市ゆかりの会」・「東京ふくしま笑而会」設立(R3)

東京福島市のつどい開催 ～故郷とのつながり支援

▶ 「実・湧・満・彩 ふくしまエール大使」大波三兄弟を任命



ふくしまシティハーフマラソン



荒汐部屋合宿



スポーツ賞遠藤裕美選手



5 賑わいと文化・スポーツの振興

(5) 活力ある地域づくりの推進と交通ネットワークの充実

①活力ある地域づくりの推進

個性ある地域づくり

- ・**UFOの里づくり** ～イベント中心から物産、観光、農業などと連携した自立的なまちづくりへ

UFOの日、**オリジナル日本酒づくり**、**UFOフェスティバル**

- ・学生街のまちづくり（金谷川地区での店舗等出店支援）

- ・**公衆浴場改革**（持続可能な経営。入浴料見直し、柔軟な企画券発行）

▶地域おこし協力隊による地域づくり支援

西地区任命(R6.12)。7名のうち女性4名、2地区拡大予定

▶市有地を活用したまちづくり

- ・**笹谷市有地** ～第一病院を核としたまちづくり

- ・**南矢野目市有地** ～イオンタウンを核とした多世代交流拠点

▶地区計画の活用 ～岡部地区等

▶市営住宅の再編

②交通ネットワークの充実

▶国道13号福島西道路

南伸…当初予定のR8開通を要請 北伸…事業化を働きかけ

▶国道115号大波地区の抜本的改良

▶国道399号飯坂東バイパスの早期事業化 ▶フルーツライン整備の促進

▶都市計画道路の整備

曽根田町桜木町線宮下町工区(R6完成見込み)、太平寺岡部線御山町工区(R8完成見込み)



UFOフェスティバル



地酒「宙飛ぶ宴絆」

地域おこし協力隊



飯坂
(R4)

飯野
(R4)

大波
(R4)

吾妻
(R5)

土湯
(R5)

松川
(R6)

西
(R6)

6 デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(1) デジタル都市の形成

高齢者にもやさしいデジタル化、行政のDXなど地域全体のデジタル化を推め、市民生活を豊かにし、経済活動を活発にするよう取り組むとともに、デジタル事業者が集まるまちを目指します。

① 高齢者にもやさしいデジタル化

- ▶ デジタルサポートデスク（6支所を追加し8カ所開設）
- ▶ 市民相互の学び合い（6デジタルクラブ、世代間デジタル交流）
- ▶ シルバー人材センターICT班活動支援（23名）
- ▶ スマホハンドブック作成（R6.3） ▶ シニアICTサポーターの育成（64名）

合意形成と推進体制

ふくしまデジタル推進協議会(R4.7)
デジタル都市宣言(R4.11)
福島市DX推進本部(R6.4)

② 地域社会・経済のデジタル化

- ▶ デジタル人材バンク（R4～マッチング15件）
- ▶ 電子入札の対象拡大、デジタルくーぽん、電子図書館、電子町内会(40町会)
- ▶ 都市計画情報の3Dデータ化

日本DX大賞2024 優秀賞受賞

③ 牽引エンジンとしての行政のデジタル化

I 市民サービスの向上

- ・行政手続きのオンライン化（オンライン申請348手続きに拡充）
- ・公共施設予約システム（スポーツ・文化等37施設 キヤッシュレス決済 **東北初**）
- ・市公式LINEで情報発信・イベント予約等（LINE登録7.6万人） ・こむこむ館デジタルコンテンツ
- ・市ホームページのリニューアル ・母子保健スマート窓口（オンライン予約・届出）

II 行政の高度化・効率化

- ・文書生成AIの導入 ・システム標準化とガバメントクラウド移行（基幹20業務を順次移行）
- ・業務システム内製化の推進（H30～システム化100件以上。他自治体へ提供し効果波及）
- ・答弁検討システムの商品化（民間連携で開発、自治体ビジネス収入。21団体導入予定）

【マイナンバーカード】R6.11月末
・保有率 77.2%（全国76.3%）
・交付率 84.9%（全国83.4%）



世代間デジタル交流

6 デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(2) 地域経営のリノベーション

市民・事業者とのコミュニケーションを図り、**共創**と連携によるまちづくりに取り組みます。
持続的発展に向け、**多様な連携**や**広域的な取組**を推進します。

①共創によるまちづくり

▶**公民こねくと** ～実効ある公民連携のワンストップ窓口

民間事業者等からの取組提案・相談、民民連携の橋渡し、市課題への提案募集

取組12件…不登校児童生徒のオンライン教材、災害事務効率化の共同研究など

▶**産学官連携プラットフォームの推進**（若者の地元定着等の地域課題解決）

▶**こくりナビ**（まちづくりへ若者参画。学生・若手社員と市事業や地域をマッチング）

▶**地域コミュニティ活動支援**（地域裁量の補助枠を新設）

▶**出前講座**

②広域行政と都市間交流

▶**ふくしま田園中枢都市圏** ～広域的発展、移住定住・観光周遊など各分野で連携

障がい施設製品商談会、**公式LINE「あそびばみつけ」**、水道施設運転管理の共同発注、企業合同説明会

▶**都市間交流**

荒川区：酒造り交流、共同森林整備、本市農産物の商品開発。友好都市

豊橋市：手筒花火披露、本市産くだもの販売。パートナーシティ協定締結(R5.2.9)

③持続可能な行財政経営

▶**新総合計画の策定**（R8始期の計画策定に着手、**市民ワークショップ開催**）

▶**改革改善運動「かえるチャレンジ」**

▶**財産マネジメントの高度化**（包括施設管理R8、市営住宅指定管理R7等）

▶**上下水道局の設置**（R7.4予定） ▶**金谷川小学校施設を福大水素研究拠点へ**



障がい施設製品商談会



圏域LINE「あそびばみつけ」



豊橋手筒花火

7 ゼロカーボンの推進

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

豊かな環境を未来に引き継ぐため、福島らしい**地域共生型**の再生可能エネルギーの活用を推進します。
エネルギー価格の高騰や多発する災害への対応も踏まえ、**ゼロカーボン**の取組を加速します。

①事業者・家庭向け支援

- ▶小水力発電促進
- ▶水素活用の普及

FCV購入への市独自補助、民間定置式水素ステーション開設(R5)

- ▶**脱炭素生活スタイルの普及啓発、脱炭素住宅整備促進**
- ▶**ゼロカーボンパーク登録 (R5) 東北初**

土湯温泉地、高湯温泉地

- ▶**ふくしまサステナブルおもてなし宣言 (R5)**

SDGsに取り組む観光事業者のブランド力アップ

- ▶**中小企業ゼロカーボン資金融資**

②公共施設での活用推進

- ▶**新清水支所の本市初二アリーZEB認証**

太陽光発電、蓄電池設備。R6.2開所

- ▶**市民センターへの太陽光発電・水素発電設備の設置**

- ▶**その他公共施設でのゼロカーボン化**

施設・街路灯のLED化、こむこむ館アルミ製屋根による冷暖房費削減

- ▶**公用車のエコ化**

R6:EV4台・HV2台購入、急速充電設備4基設置(クリーンセンターのバイオマス発電活用)

福島市ゼロカーボンシティ宣言(R3.2)

2050年度CO₂排出 実質ゼロ

脱炭素計画目標前倒し

2030年度CO₂削減: 30%

⇒ 55%

ノーモアメガソーラー宣言(R5.8)

- ・山地への新規大規模太陽光発電を望まない
- ・地域共生型の再生可能エネルギーを推進



実効性ある条例制定へ(R7.3)

- ・環境との共生
- ・禁止区域等を設定
- ・風力発電も対象
- ・公表や適切管理を義務化

新清水支所



7 ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備・木材利活用の推進、ごみ減量化の推進

二酸化炭素の吸収源である森林の整備と普及啓発、併せて、木材利用を促進します。
市民が快適な生活を営み続けられるよう、持続可能な**循環型社会**の構築を目指します。

①森林整備・木材利活用の推進

▶森林の適切な経営管理、森林再生、林道整備

▶**荒川区との「あらかわの森」共同森林整備**

▶公共施設での木材積極活用

清水支所、旧広瀬座、(仮称)もりあい認定こども園など

▶**建築物木材利用促進協定 (R6.5)**

事業者の新築社屋に市・県産材を活用。PRや情報発信で木材利用を促進。

▶**森林ビジョン**（環境変化や課題を踏まえ将来像を示す。R7末策定予定）



「あらかわの森」共同整備



木材利活用
(ももRabiキッズパーク)

②ごみ減量化の推進

▶**ごみ減量化・資源化の促進** ～生活系ごみ1人1日530g以下を目標

生ごみ減量化に重点(キエーロ活用促進)、雑紙等分別強化、

分別アプリでのリサイクル、食品ロス削減

製品プラスチックのリサイクル実証実験(R6.11)、充電式電池・乾電池の資源化(R7.3)

▶**ごみ適正排出の推進**

改正廃棄物処理条例施行(R7.3)…違反ごみの開封調査、改善勧告、公表

▶**官民イベントでのごみ削減等** (R6イベント補助の要件化)

▶**フードシェアリングサービス「ふくしまタベスケ」(R5)**

売れ残りを防ぎたい食料品店と、食品ロスに貢献したい市民をマッチング



生ごみ処理「キエーロ」

ふくしま  タベスケ



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(1) 移住定住の促進

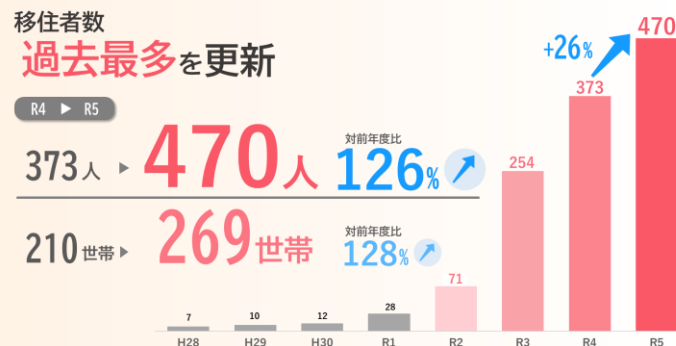
交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた**移住・定住支援**を強化します。
結婚へ踏み出せる環境整備と、**若者・子育て世帯の定住促進**を図ります。

①移住の積極的推進

- ▶ワンストップ相談窓口 ▶移住コーディネーター配置
- ▶ふくしま移住促進

首都圏での移住フェア＆**本市単独出張相談**、ハンドブック刷新
おためし移住体験(プレ移住サポート、宿泊費補助)

- ▶広報推進 (移住応援サイト、WEB広告)
- ▶移住新生活応援 (引越費用補助、♨湯めぐりパスポートを贈呈～福島三名湯3年間入浴料無料!)
- ▶**夏・冬帰省時の臨時相談窓口** (駅西口) ▶UIターン移住支援 ▶移住者の空家リフォーム補助



②結婚・定住しやすい環境整備

- ▶出会いの場創出
- ▶結婚新生活応援 (R5:**376世帯**)
- ▶わかもの住まい支援 (民間賃貸住宅を活用した新婚・子育て世帯の家賃支援)
- ▶**子育て・若者世帯向け市営住宅** (R5:20世帯58名、R6.4**入居要件緩和**)
- ▶**ふくしま☆スタイル住宅整備** ～住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅。省エネ性能にも配慮
 - ・新築住宅… 1Fは高齢者向け、2Fは若者・子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅
 - ・**DIY住宅**… 入居者が自由にアレンジ
 - ・**リノベーション住宅**… フランフラン家具等設置モデル
- ▶移住者同士や地域との交流 (くだもの収穫体験交流会など)

ふくしま☆スタイル
リノベーション住宅



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(2) 女性活躍社会の形成

市が率先垂範し**社会的な意識改革**を促しながら、**女性が活躍しやすい環境**づくりに取り組みます。

①ふくしま起業女子応援パッケージ ～起業した先輩たちが姉妹のように伴走型で支援～

女性の起業チャレンジ講座、起業相談「姉妹カフェ」、プチインターンシップ、お試しワンデー起業

②女性活躍のための施策

- ▶働く女性応援企業認証 (H29:24社⇒**R6:97社**)、ゴールド認証 (**R6まで計13社**)
- ▶ジェンダー平等の推進 (公共施設・公立中学校のトイレに生理用品配置。公共3施設⇒**R6:20施設**)
- ▶「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加(R5)
- ▶**WEBスキルアップセミナー**、ひとり親家庭の資格取得支援 ▶男女共同参画の啓発
- ▶経済界への女性雇用環境等の改善要請

③女性の社会的地位向上への取組

▶女性市職員の積極的登用

特別職 H29: 0人(0.0%) ⇒ **R6: 1人(20.0%)**

管理職 // :10人(5.9%) ⇒ **// :22人(12.4%)**

消防吏員 // : 2人(0.8%) ⇒ **// :10人 (3.3%)**

▶審議会等の女性比率 H29:29.1% ⇒ **R6:37.3%(法定外含め43.3%)**

▶自治振興協議会の女性参加率 H29:13.3% ⇒ **R6:38.9%**

②男性の育児参加促進

▶子育て2020(フレフレ)プログラム(男性の育児休業取得推進)

男性職員育児休業取得率 H29:6.3% ⇒ R5:70.6% ⇒ **R6:100%**

※R6.12月現在

▶子育てエールメッセージ、子育てエールデー

▶市長自ら「イクボス」宣言 ・「おとう飯」サポーター就任



働く女性応援企業ゴールド認証



子育てエールメッセージ43

◆ 物価高騰対策

○ 物価高騰対策

原油価格上昇や円安による物価高騰の影響を受ける**市民生活と地域経済を支援**します。

①市民生活支援、事業者支援

▶生活支援特別給付金

低所得世帯の生活支援のため特別給付金を給付

▶定額減税

- ・減税…1人につき所得税3万円、住民税1万円
- ・調整給付…減税しきれない方へ差額を支給 R6.8～

▶選択型エールクーポン（利用期間/R6.3.8～5.31）

紙の値引き型クーポン、デジタルクーポンを選択

▶福島型給食推進事業の継続

給食の質と量を継続的に確保

給食費負担軽減1/3(R4.7)⇒材料高騰分の4割支援(R5.5)

▶子ども食堂運営支援

フードドライブ活動を促進し、子育て世帯を支援

②物価高等に強い体質づくり

▶米粉等利用拡大支援

海外情勢の影響を受けやすい小麦粉の代用として米粉等の活用を支援

米使用の商品開発(10万円)から生産・販売(価格差2/3)を支援

▶ゼロカーボン推進に伴う省エネ化・再生可能エネルギーの活用

市民生活(省エネ住宅)、農業(太陽光発電、化学肥料低減、燃油転換)、商業(省エネ設備導入の融資)

【生活支援特別給付金】

世帯	特別給付金 (1世帯あたり)	こども加算 (児童1人あたり)
①R5年度住民税非課税世帯 (R5に3万円給付)	70,000円	50,000円
②住民税均等割りのみ課税世帯	100,000円	
③R6年度住民税非課税世帯等 ※①、②を除く	100,000円	

【選択型エールクーポン】

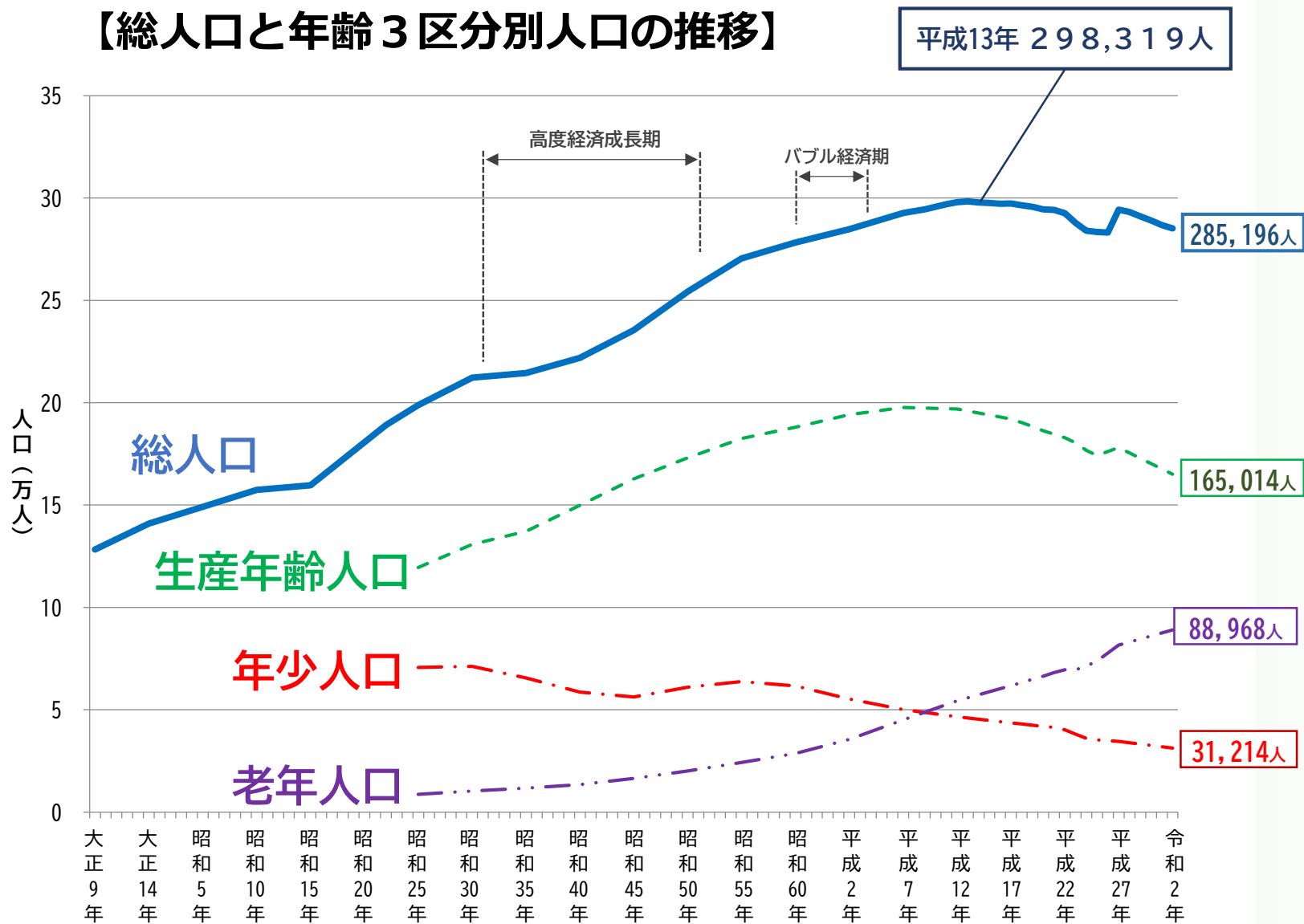
タイプ	内容（1人あたり）
値引き型クーポン	500円値引きクーポン3枚（1,500円分）
デジタルクーポン	① 5,000円購入で 6,500円分 ②10,000円購入で12,500円分



福島市の人口状況

福島市の人口推移

【総人口と年齢3区分別人口の推移】

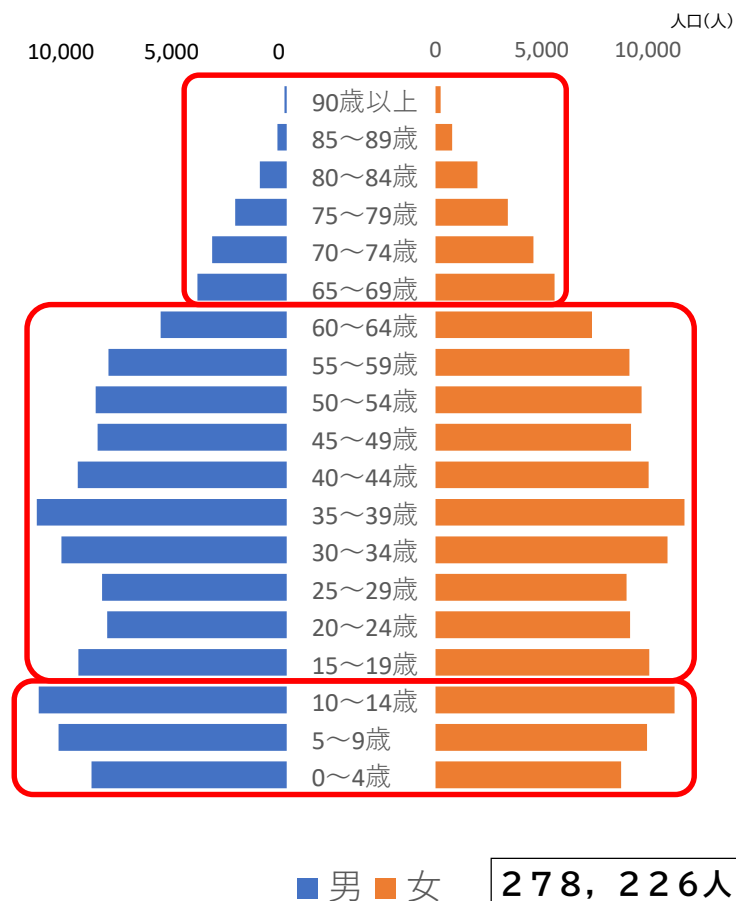


資料：総務省「国勢調査報告書」、福島市統計書

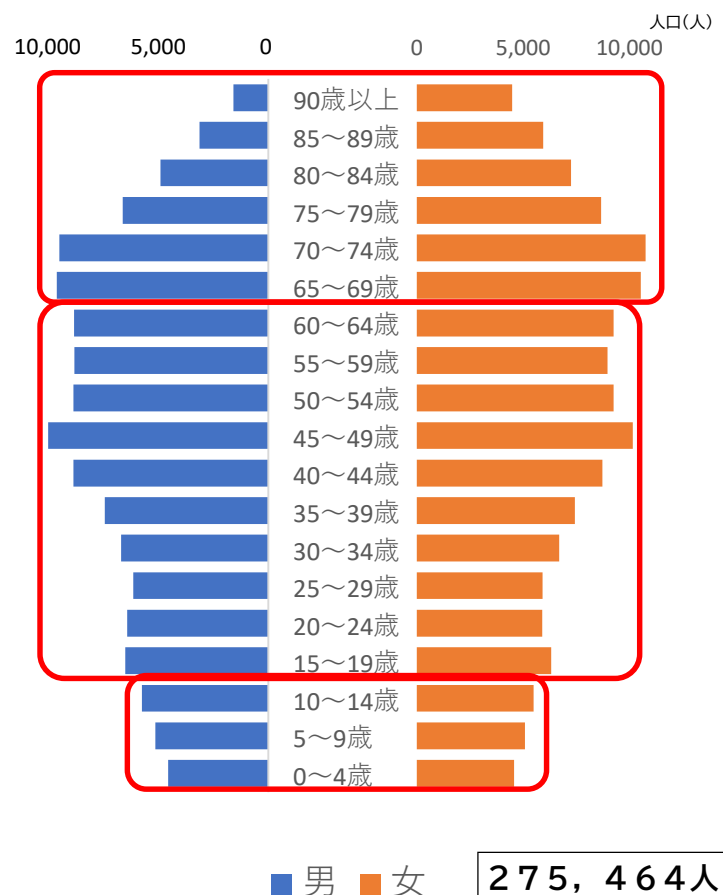
福島市の人口構成

【人口ピラミッドによる人口構成比較】

1985年（昭和60年）

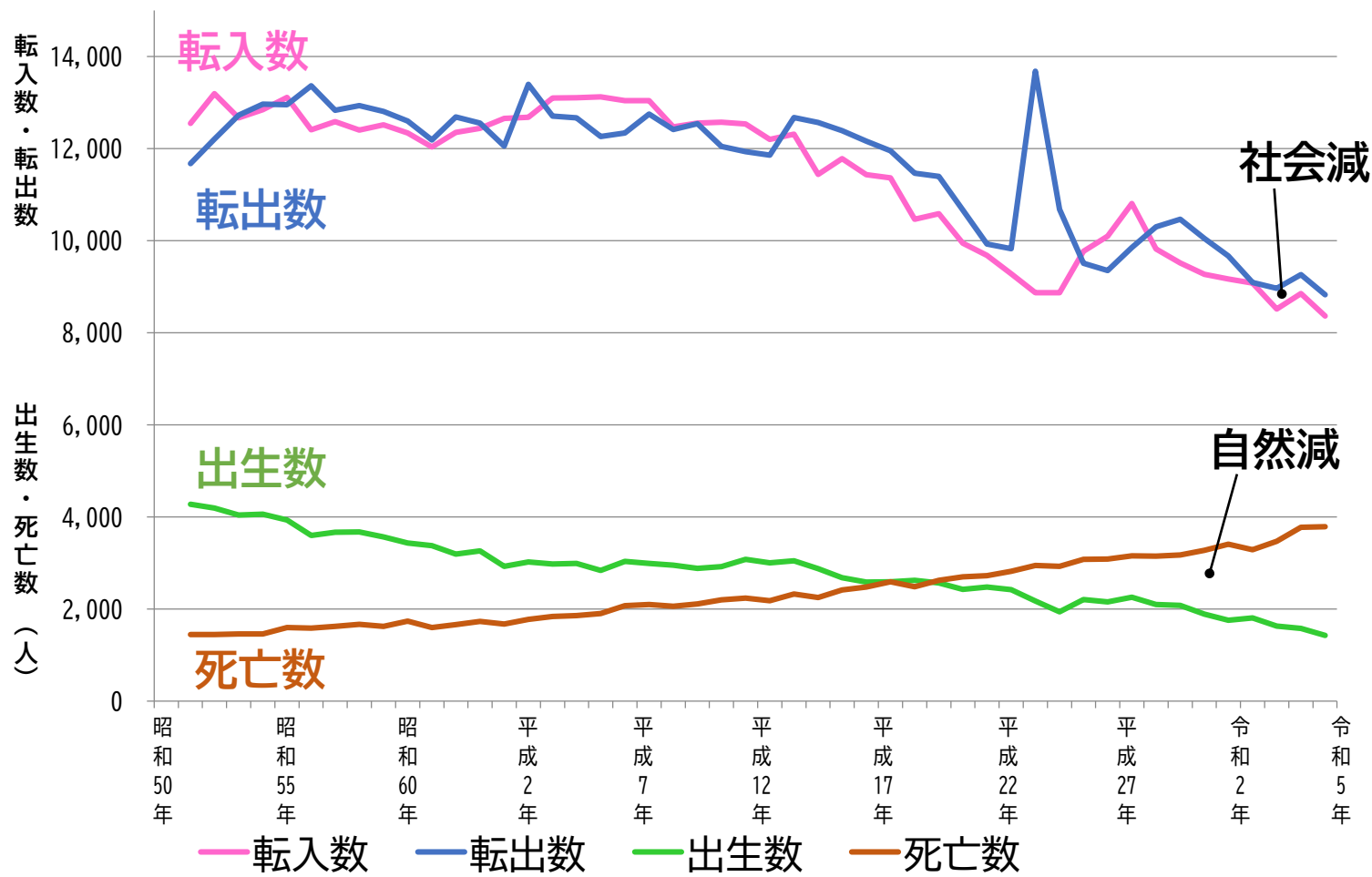


2020年（令和2年）



福島市の人口動態

【転入数・転出数と出生数・死亡数の推移】



福島市の人口動態

【令和5年の年齢別転入数・転出数】

(人)

区分	総数	～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
増減	△ 464	△ 12	188	△ 668	△ 57	42	33	△ 15	34	△ 9
転入	8,360	659	801	2,983	1,625	920	786	280	166	140
転出	8,824	671	613	3,651	1,682	878	753	295	132	149

【出生数の推移】

(人)

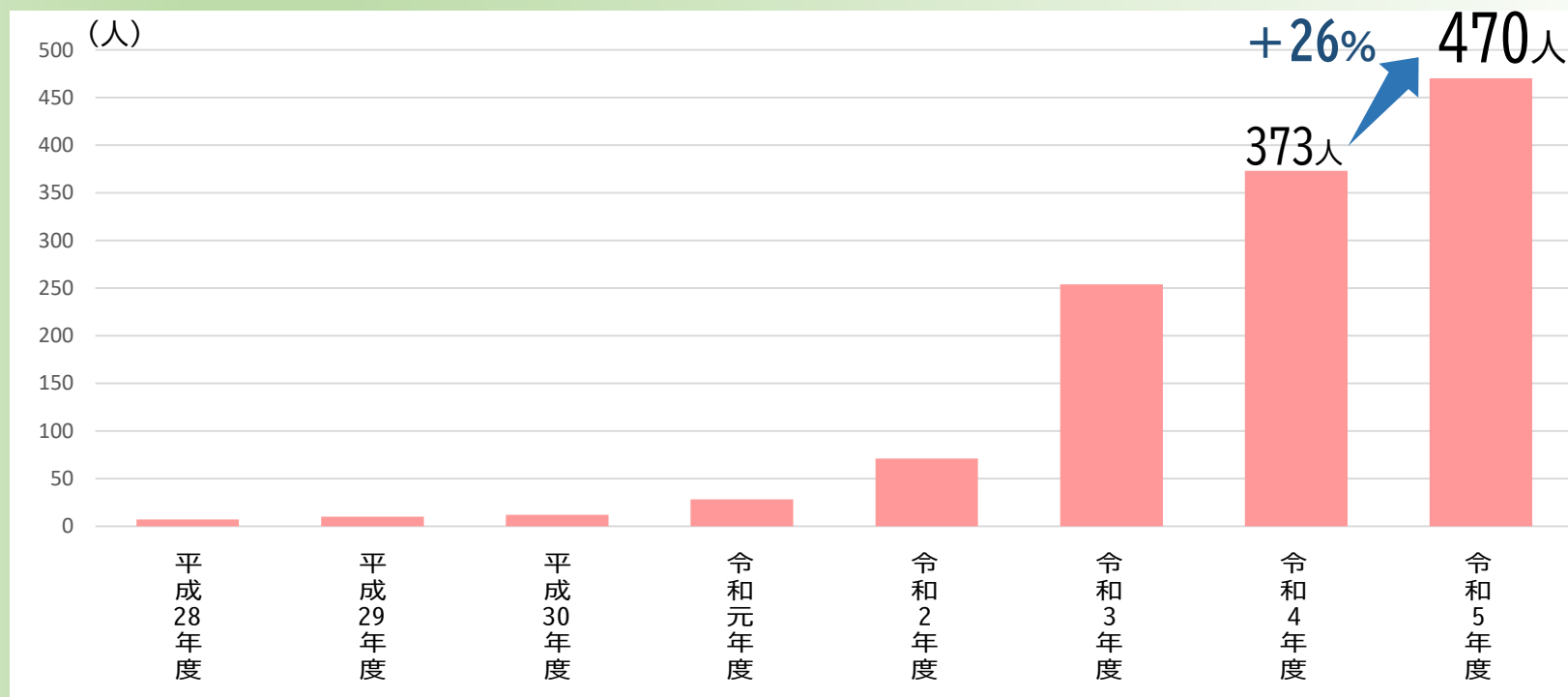
区分	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
福島市	2,255	2,094	2,077	1,889	1,753	1,806	1,629	1,576	1,423
福島県	14,195	13,745	13,219	12,495	11,552	11,215	10,649	9,709	9,019
国	1,005,721	977,242	946,146	918,400	865,239	840,835	811,622	770,759	727,277

福島市の人口動態

【移住者数の推移】

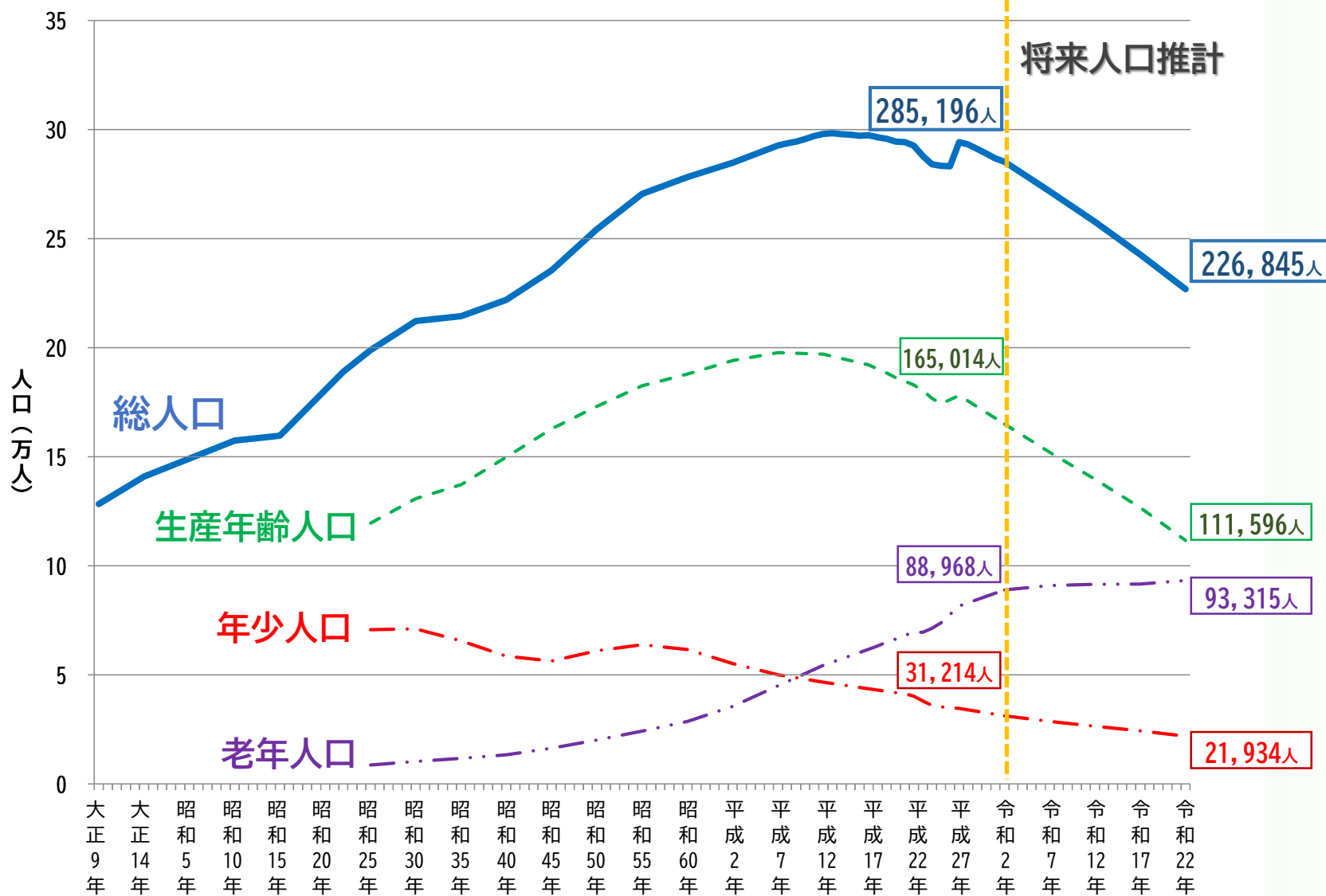
(人)

	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
移住者	7	10	12	28	71	254	373	470



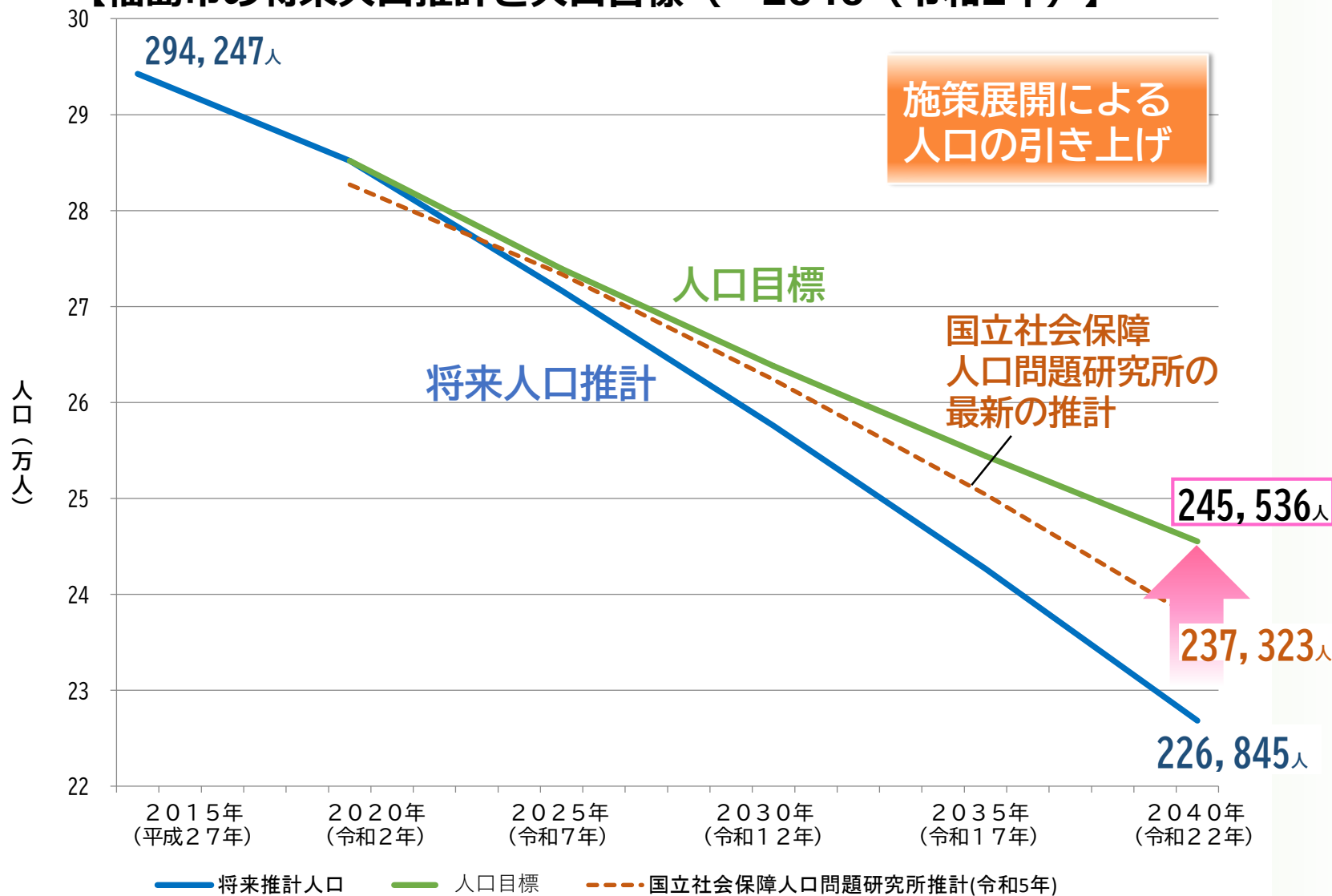
福島市の人口推計

【福島市の将来人口推計～2040（令和22年）】



福島市の人口展望

【福島市の将来人口推計と人口目標（～2040（令和2年））】



市民アンケートの結果

市民アンケートの概要

★第7次福島市総合計画の策定に向けた市民アンケート調査

実施期間

令和6年7月16日～令和6年8月6日

回答方法

インターネットおよび郵送

対象者数

3,000人（15歳以上の福島市民）

※性別居住地考慮のうえ無作為抽出

有効回答数

1,550人（回答率51.7%）

新しい福島市総合計画策定のための 『市民アンケート調査』ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から福島市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、新しい『福島市総合計画』の策定に取り組んでいます。総合計画は本市の将来像を描き、その実現に向けた市政運営の指針となるものです。そこで、市民の皆様からご意見をいただき、新しい計画づくりに役立てるため、アンケート調査を実施いたします。

ぜひ、このアンケートを通して、皆様が想う未来の福島市の姿を私にお伝えください。

市民の皆様、共に福島市の未来を創っていきましょう！

福島市長 木幡 浩

アンケートの回答方法

1. 封筒のあて名のご本人にご回答をお願いします。
2. 回答はこの調査票に直接ご記入いただくか、インターネットでの回答にご協力をお願いします。

調査票による回答 8月5日（月）までにポストに投函

ご記入後の調査票を、同封の返信用封筒（青色・切手不要）に入れて、ポストに投函してください。

インターネットによる回答 8月6日（火）までに入力

右のQRコードを読み込むか、下記URLから回答フォームにお入りいただき、入力をお願いします。

インターネットで回答された場合には、本アンケート調査票の返送は不要です。

回答URL : <https://fukushima-city.ubinavi-plus.com/yb/page/ybSurvey.php?hidReportList=RPT0000023>

インターネットでの回答にご協力をお願いします

回答フォームへ



【お問い合わせ先】 福島市 政策調整部 政策調整課 総合計画係（福島市五老内町3番1号）
TEL：024-525-3788 FAX：024-536-9828
メール：seichou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

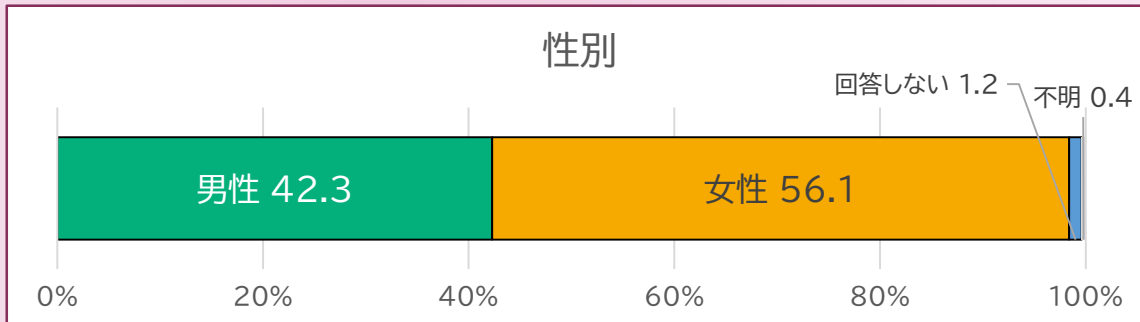


ふくしまウェブ案内人 翻訳サービス (The "Fukushima Web Guide" translation service.)
English (英語) ・ 한국어 (韓国語) ・ 簡体字 (簡体字中国語) ・ 繁体字 (繁体字中国語)

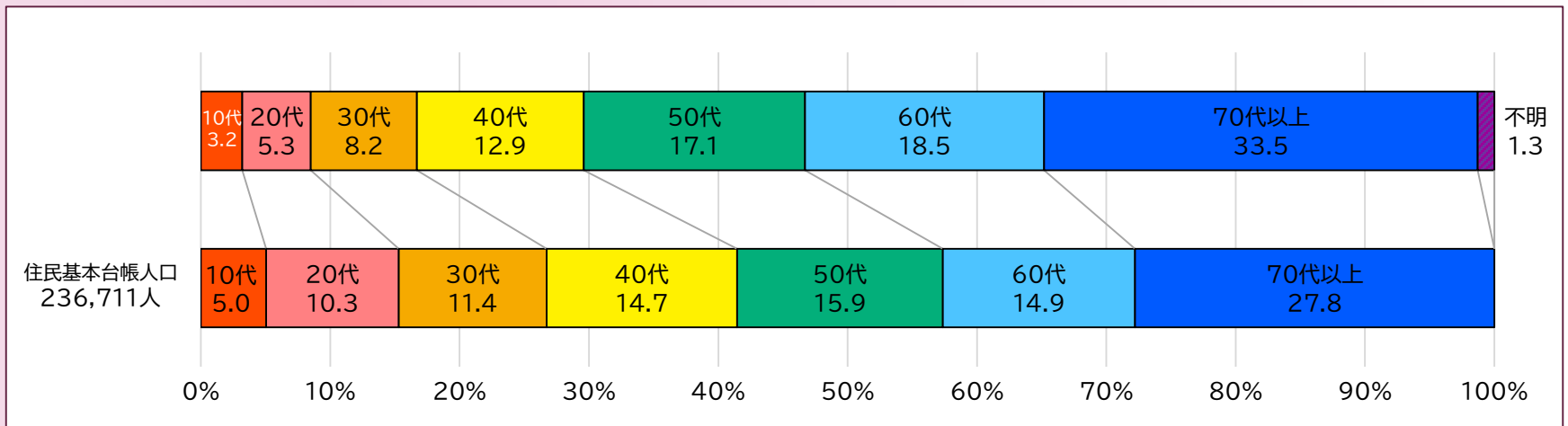
Scan the QR Code.

市民アンケートの結果

Q. あなたの性別を教えてください。



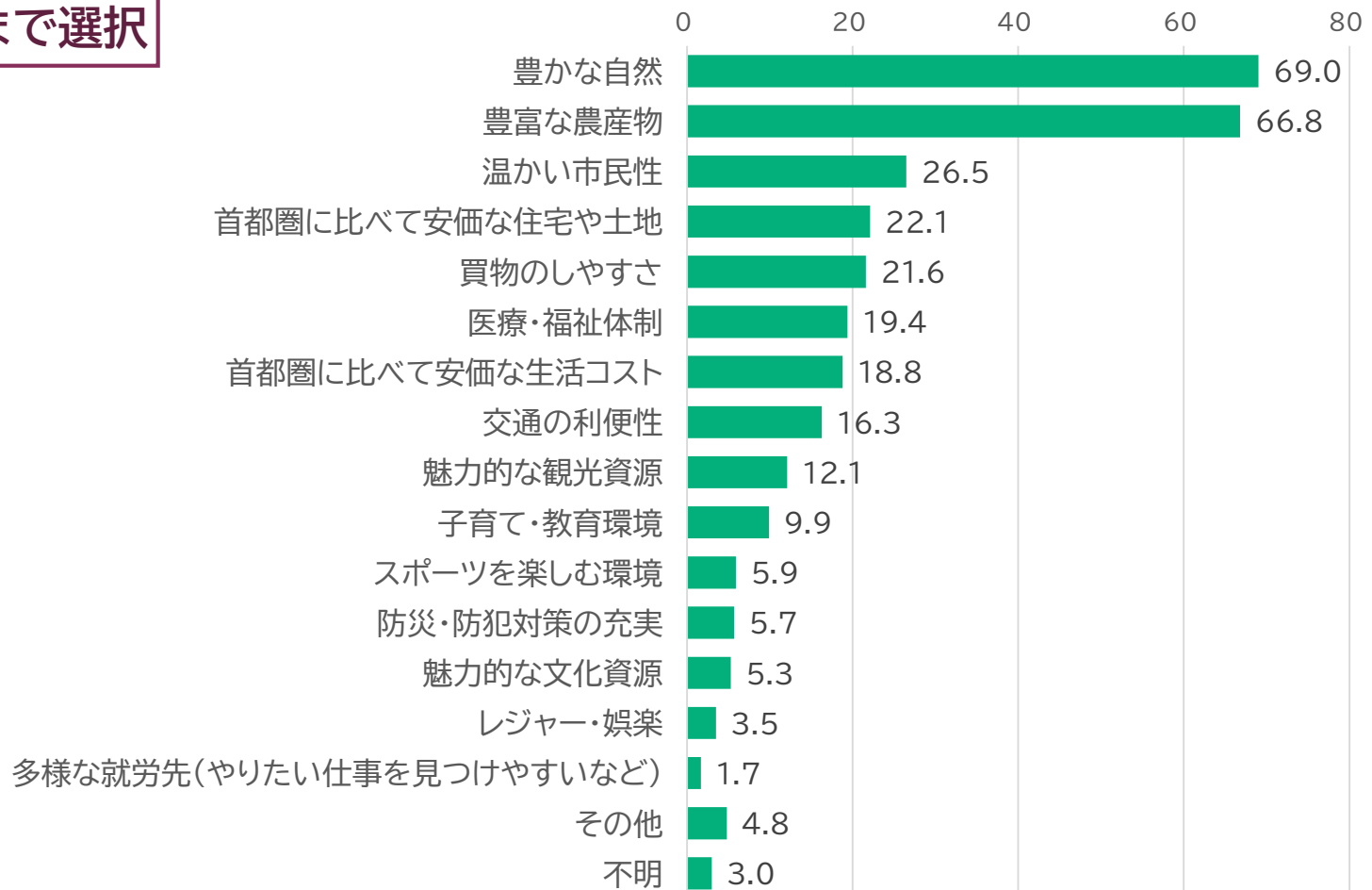
Q. あなたの年齢は、何歳ですか。



市民アンケートの結果

Q. あなたは、福島市で暮らしていて、どのような点に”魅力”を感じますか。

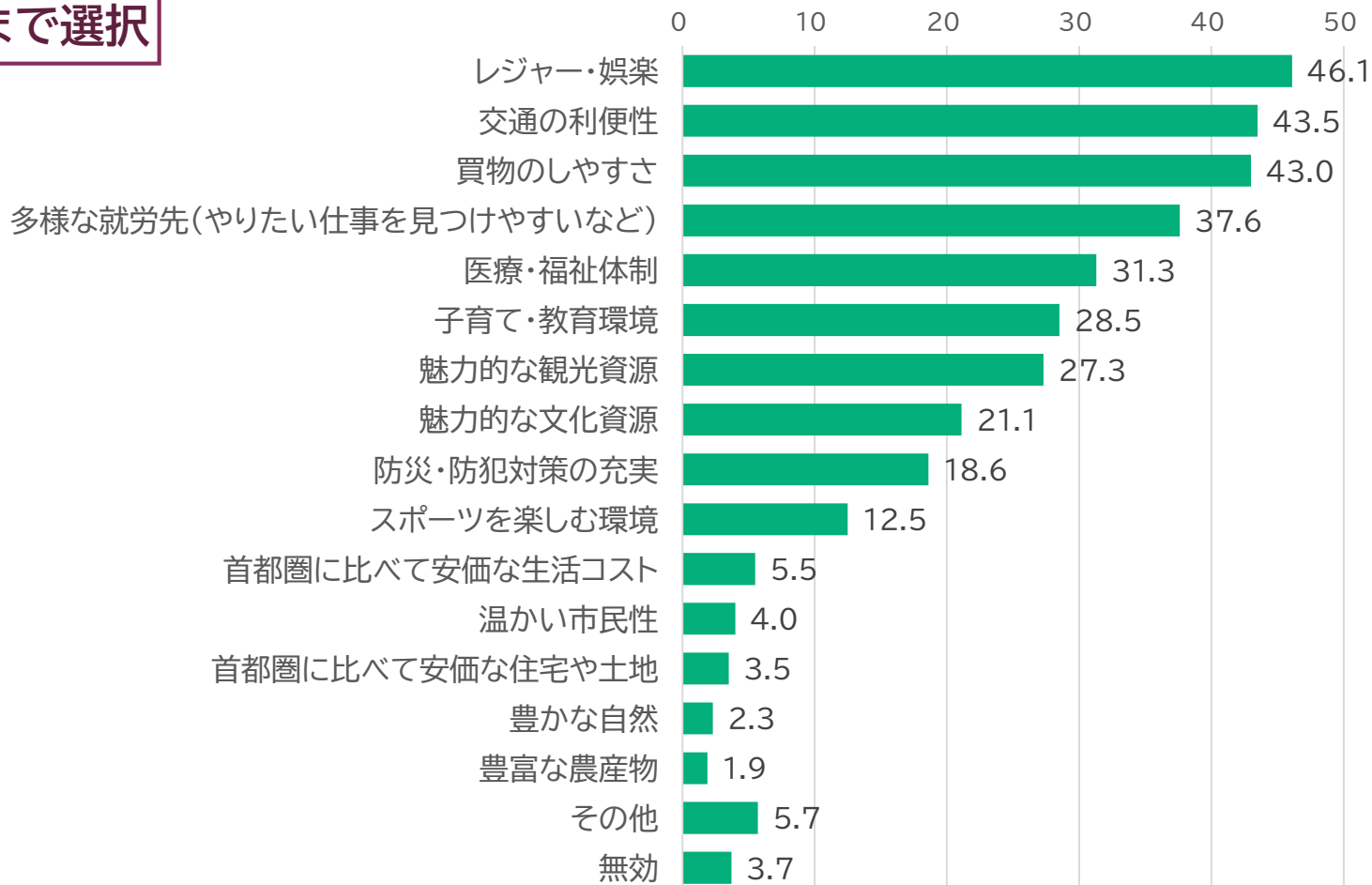
5つまで選択



市民アンケートの結果

Q. あなたは、福島市で暮らしていて、どのような点が”不足”と感じますか。

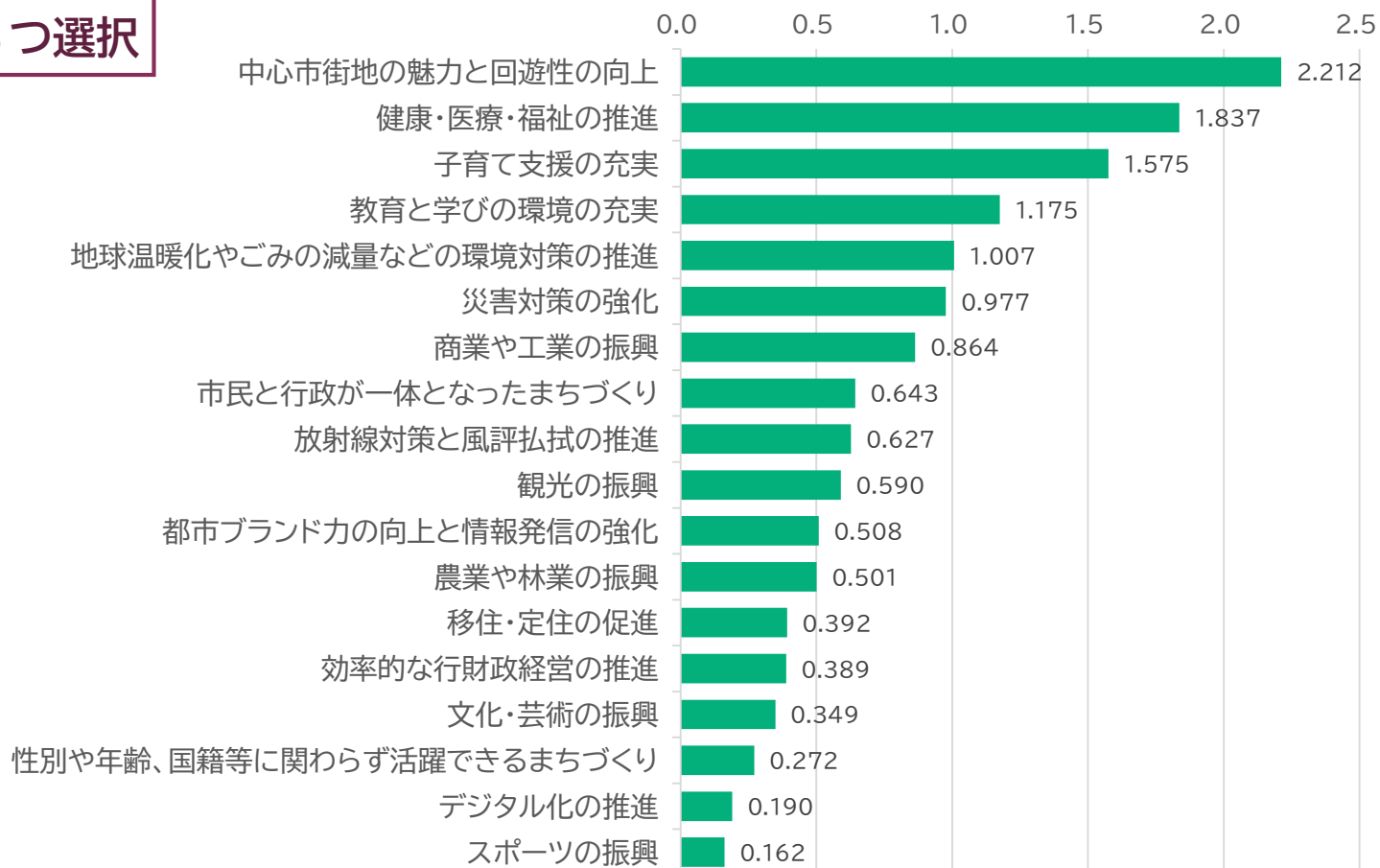
5つまで選択



市民アンケートの結果

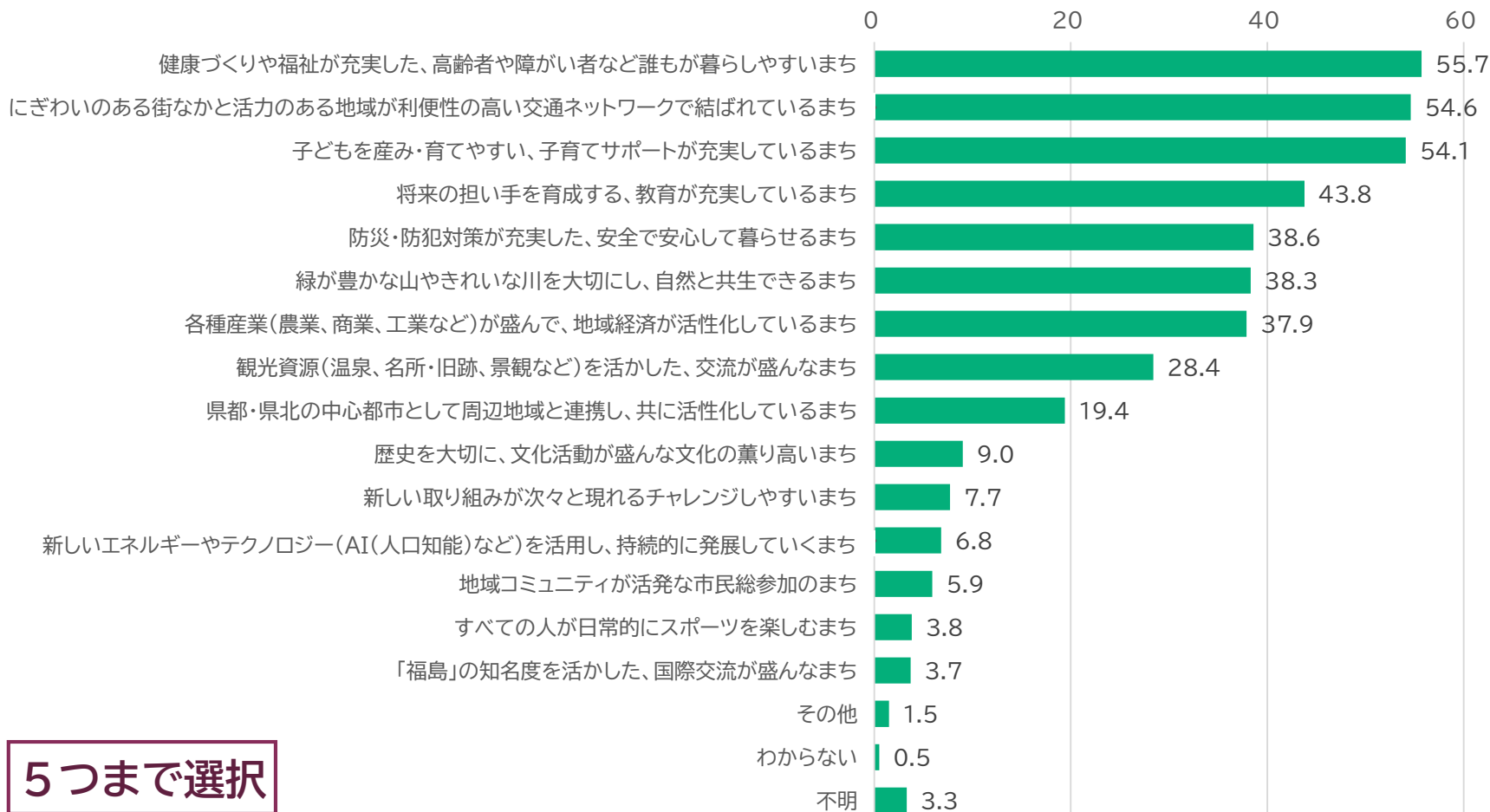
Q. 福島市が主に推進している次の取り組みの中から、あなたが優先すべきと思うものを順に5つえらんでください。

順に5つ選択



市民アンケートの結果

Q. あなたは、福島市は将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。



5つまで選択

市民アンケートの結果

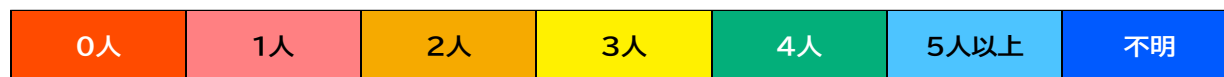
Q. あなたは、将来結婚したいと思いますか。

現在独身と答えた方が回答



		n=				
全体		(481)	22.2	43.9	30.1	3.7
性別	男性	(191)	31.4	29.3	37.7	1.6
	女性	(283)	15.9	53.7	25.1	5.3
	回答しない	(7)	28.6	42.9	28.6	

Q. あなたが子どもを持つとしたら、持ちたいと思う子どもの数は何人ですか。



		n=						
全体		(1,550)	7.0	8.8	40.5	30.3	2.9	9.1
性別	男性	(655)	7.3	7.9	40.3	30.8	2.9	8.7
	女性	(870)	6.8	9.8	40.5	30.1	3.0	9.0
	回答しない	(19)	10.5		57.9	10.5	5.3	15.8

～ 事務連絡 ～

第2回懇談会は

- ・ と き **2月26日(水) 午後6時30分～**
- ・ ところ **福島市役所 4階 庁議室**

での開催を予定しています。

※**本庁舎西側入口**よりお入りいただき、

左手のエレベーターで4階までお越しく下さい。

※西側以外の入口は施錠され、通行できませんので
ご注意ください。